

294

224

兒童用

K136.21
3
2

尋常小學地理書 卷二

文部省

兒童用

尋常小學地理書 卷二

文部省

正
14. 12. 15
內交

目録

第一 北海道地方	一頁	二 地勢	二十二	二 支那	八十六
一 區域	一	三 産業	二十五	三 シベリヤ	百四
二 地勢	一	四 交通	三十一	四 印度	百八
三 産業	四	五 住民	三十二	五 東南アジア	百十
四 交通	十一	六 都邑群澎湖諸島	三十三	第八 ヨーロッパ洲	百十四
五 都邑	十二	第四 朝鮮地方	三十五	第九 アフリカ洲	百三十四
六 千島列島	十四	一 區域	三十五	第十 北アメリカ洲	百四十
第二 樺太地方	十五	二 地勢	三十六	第十一 南アメリカ洲	百五十三
一 區域	十五	三 産業	四十一	第十二 大洋洲	百六十一
二 地勢	十六	四 交通	四十六	第十三 世界と日本	百六十八
三 住民・産業	十七	五 住民・都邑	四十九	地球の表面	百七十四
四 都邑・交通	二十	第六 日本 の 總説	五十六	附録	一
第三 臺灣地方	二十一	第七 アジヤ洲	七十九		
一 區域	二十一	一 總説	七十九		

尋常小學地理書卷二 兒童用

第一 北海道地方

一 區域

北海道地方とは北海道本島、其の近海の島々及び千島列島をいふ。此の地方を管轄する北海道廳は札幌にある。

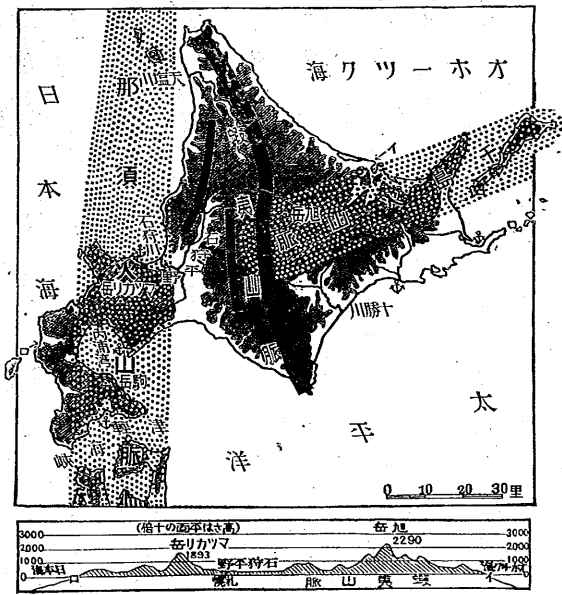
二 地勢

北海道本島は西南部の細長い半島を除くと、大體菱形になつてゐる。

菱形の部分は、蝦夷山脈が南北に連なり、千島火山脈が

山

東西に通つてゐる。これ等兩山脈が出合つてゐる本島の中央部は、火山の旭岳をはじめ高い山が多くて大分水嶺となつてゐる。しかし其の他の山脈は一般にさほど高くはなく、處々に盆地もある。半島の部分には



北海道本島の地勢と断面圖

尋地二

川平地



駒ヶ岳と大沼

那須火山脈が南北に通つてゐて、駒ヶ岳まつかり岳などの火山がある。まつかり岳附近は、那須火山脈と千島火山脈とが出合つてゐる處で、地勢が割合にけはしい。中央部の分水嶺から出てゐる主なる川は、北に流れる天塩川、東南に流れる十勝川、西南に流れる石狩川で、何れも我が國屈指の大きな川である。大てい流が早く、屈曲が多いので、船の交通には便利でないが、灌漑發電には利用される。又其の沿岸の平地は、次第に開墾されて、本島の主

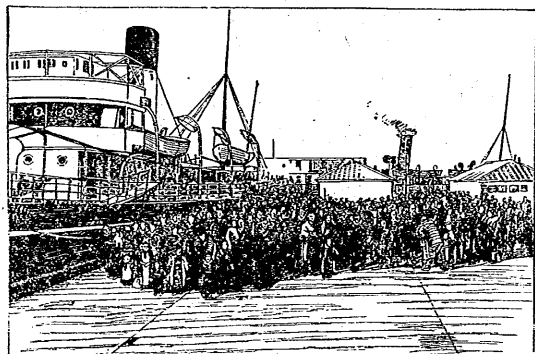
海岸

なる農業地となつてゐる。中でも石狩川沿岸の石狩平野は、面積が最も大きく、地味が肥え、開墾が進んでゐるから、農産物が多い。この平野は、工業も發達し、交通も便利で、随つて人口が多く、處々に都邑がある。海岸線の出入が少いので、天然の良港がまれである。しかし函館小樽室蘭の諸港は、それ〴〵港の設備が出来て、船の出入が便利である。

三 産業

本島は元、人口が至つて少く、産業は進まず、交通も不便であつたが、明治維新後、他の地方から移住して来る者が多く、人口は年々著しく増加して、今や二百五十萬に

等地二
等地二

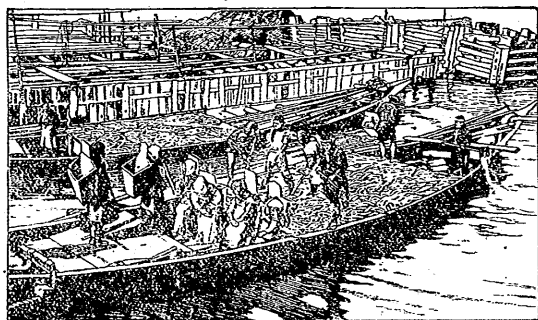


(橋棧の館函)々人るす住移に島本道海北

第一の産業であつた水産業を凌

ぐやうになつた。

上り、あまたの都會も出来、諸種の産業も大いに進歩した。殊に農業工業の進歩は著しく、生産額の多いことで、何れも従来本島



(港船留)げ揚陸のんしにるけ於に島本道海北

水産業

近海は寒流・暖流があるので、魚類海藻類が多く、世界で

名高い漁場となつてゐる。にしんさけたら

こんぶ等の産額の多

いことでは、我が國で

此の地方に及ぶ處は

ない。さけは川でも多

く取れる。これ等の水

産物は乾物・塩漬・罐詰

等に製造されて多く

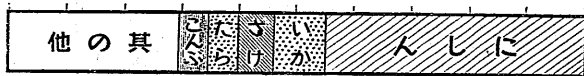
は函館・小樽から内外

各地に積出される。



さけの川の上り

北海道地方の主な水産物の産額比較
(年九正大) 圓萬百八千四約額産年



農業・牧畜

農業は、人口が増加し、開墾が進歩するに随つて、近年著

しく發達

した。本島

の耕地は

大てい大

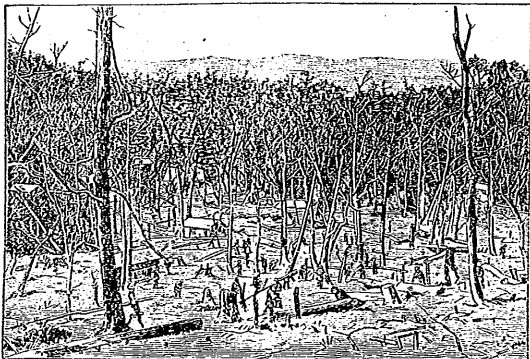
きく區劃

されてゐ

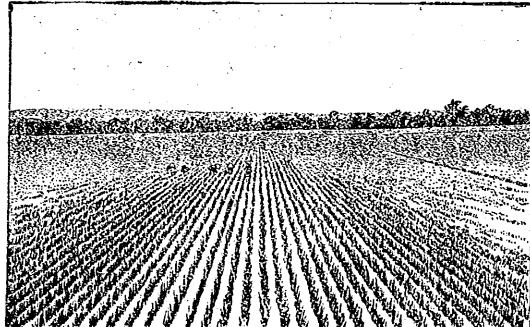
て、其の耕

作には主

として馬



森林を伐開いて開墾する所



開墾した水田の草取り

を使役するが、トラクターといふ機械をも使用する。農

鑛業



場乾の莖麻亞

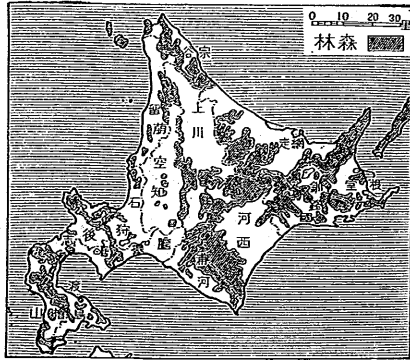
産物の主なるものは米からすむぎ、はだかむぎ、じやがいも、大豆、小豆で、其の主産地は石狩平野、上川盆地、十勝川流域の平地、網走附近であつて、主なる集散地は札幌、旭川である。上川盆地では亞麻、半島の部分ではりんごを産する。

十勝川、石狩川の各流域にある平地は、雨が少くて牧畜に適し、殊に馬の牧畜が盛で、馬市が各地に開かれる。

鑛産物の中では、石炭が主なるもので、之に次ぐものは硫黄である。石炭は石狩平野の東にあ

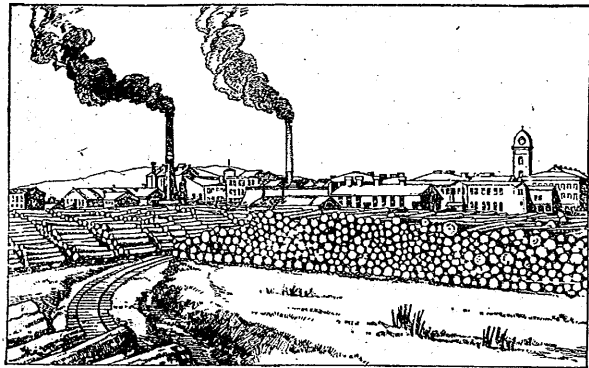
尋地二

林業



圖の布分の林森

本島には森林が甚だ多く、えぞまつ、とどまつ等は用材として、小樽港、其の他の港から各地に送られる。

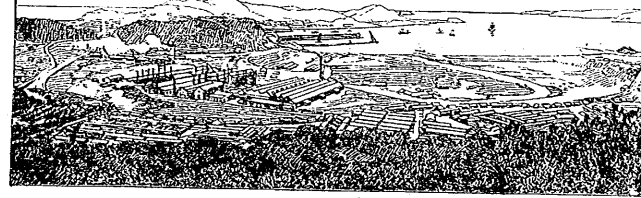
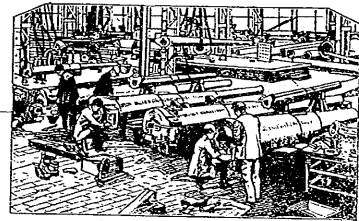


場工紙製るあに牧小苔

工業

苦小牧には大きな製紙工場があつて、木材を原料として盛に洋紙を製し、網走附近ではどろのきからマツチのぢく木を製する。又札幌にはビール工場、麻絲工場、室蘭には製鋼所があつて、それゝ多くの製品を出す。

かやうに工業が盛になつたのは、主として原料及び石炭が得易く、水力の利用も便利であるからである。



(所る造を飽大は岡上) 所鋼製るあに蘭室

尋地二

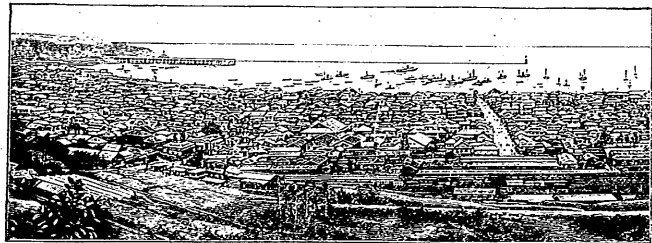
陸上の交通

四 交通

産業の進歩するにつれて、鐵道も次第に延長した。函館から北の方、小樽、札幌を経て、旭川に至る函館線と、旭川から北に進んで稚内^{わい}に達する宗谷線と、旭川の西南で函館線から分れ、東の方、釧路^{くろ}を経て、根室に至る根室線とは、何れも我が國における鐵道の幹線の一部で、函館で鐵道連絡船によつて、本州の鐵道と連絡してゐる。又稚内と樺太の大泊^{おほのり}との間にも鐵道連絡船が往來してゐる。

其の他、札幌の東北で函館線から分れて、室蘭に至るもの、十勝川の沿岸で根室線から分れて、網走に至るもの

海上の交通



小樽 港

も、本島での主なる鐵道線である。近海は、冬季、風波、雨雪が多く、春から夏にかけては霧が深く、又季節によつては流水さへもあるから、海上の交通はとかく故障が多い。しかし函館・小樽・室蘭の諸港は、四季とも、船が自由に出入し、殊に函館・小樽の二港はウラヂボストクとも航路が相通じてゐて、船の出入が多い。

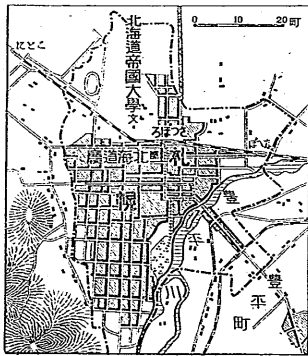
五 都邑

本島で都邑の多い處は、産業の盛な石

尋地二

尋地二

狩川沿岸の平地及び半島の部分の海岸である。其の都邑の中、札幌・小樽・函館の人口は、何れも

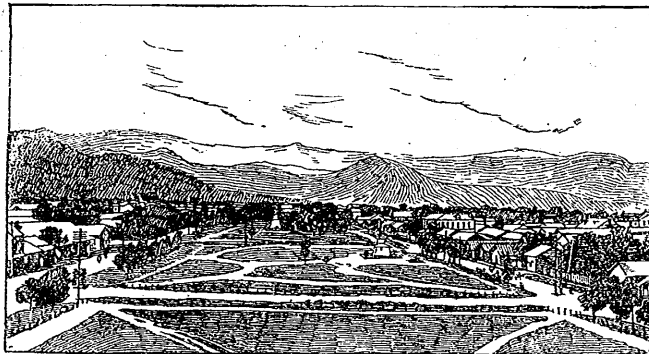


札幌市の街圖

十萬以上である。

札幌は北海道

地方での政治上の中心地である。又商工業の盛な處である。北海道帝國大學もこゝにある。一體に



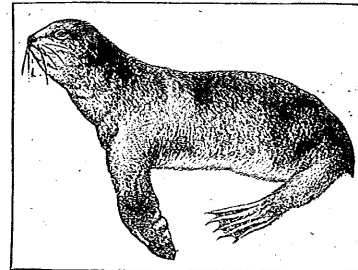
札幌市の街（大通）

道幅は廣く、市區が正しく區劃されてゐる。
小樽・函館は何れも海陸交通の要地で、又旭川は陸上交
通の要地である。

六 千島列島

千島列島とは擇捉島以下三十餘の島をいふ。其の東北
端の占守島は千島海峽を隔ててシベリヤのカムチャカ
半島と相對してゐる。この列島は千島火山脈が通つて
ゐて、地勢がけはしく、地味もやせ、冬の寒さもはげしい
から、住民も少く、陸上の産物も極めて少い。けれどもさ
けます等の水産物が多いから、夏の間は漁業のため各
地からこゝに來るものが少くない。

尋地二



いせとつお

させる爲に禁じられてゐる。

又近海にはお
つとせいらつ
にが多くすん
でゐるが、勝手
に捕獲するこ
とは之を繁殖



こつら

第二 樺太地方

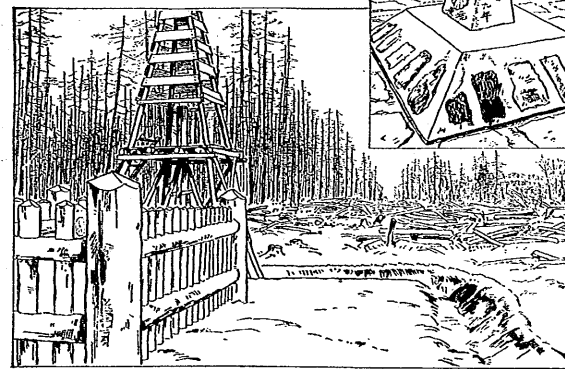
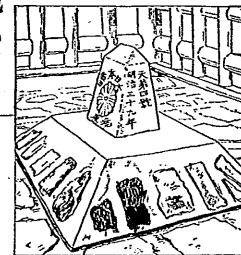
一 區域

樺太地方とは樺太島の南半部をいふ。此の地方を管轄

する樺太廳は豊原にある。

二 地勢

この地方は北はソヴェト聯邦(ロシア)の樺太と地つゞきで北緯五十度の線が境になつてゐる。西は間宮海峡を隔ててシベリヤと相對してゐる。大體の地形が南北に細長く、樺太山脈は北から南へ縦に走つて、大分水嶺となつてゐる。樺太山脈の東には北部にも

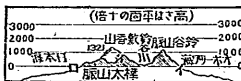


我が國とシロヤの國境及び界標

山川平地

海岸

樺太地方の地勢の略圖と断面圖



南部にも、小さな山脈があつて、之と樺太山脈との間には細長い平地がはさまれてゐる。北部の平地には幌内川があり、南部の平地には鈴谷川がある。

海岸線の出入が少く、其の上、冬季は沿海が氷るの、良港がない。大泊は内地との交通上、重要な港であるが、冬季は砕氷船を使用する不便がある。眞岡は之に次ぐ港で、唯一の不凍港である。

三 住民産業

農業・林業
工業・鉱業

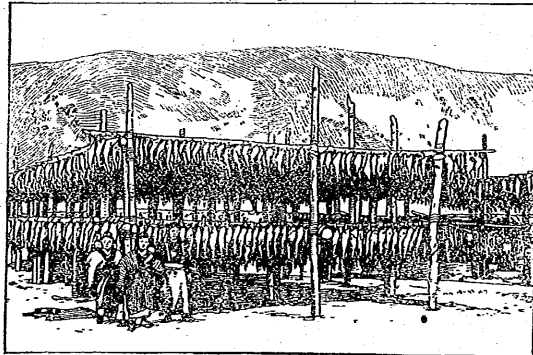
住民は九萬餘、其の大部分は、この地方が我が領土となつてから後、他の地方から移住したものであつて、アイヌ人・ギリヤク人等の土人は、其の数が極めて少い。

この地方は緯度の高い處で、冬季は其の期間が長く、且寒さがはげしい。それ故地味の肥えた處が處々にあるにもかゝらず、南部の鈴谷川沿岸の平地の外は、農業がまだ發達してゐない。



林のつまらか

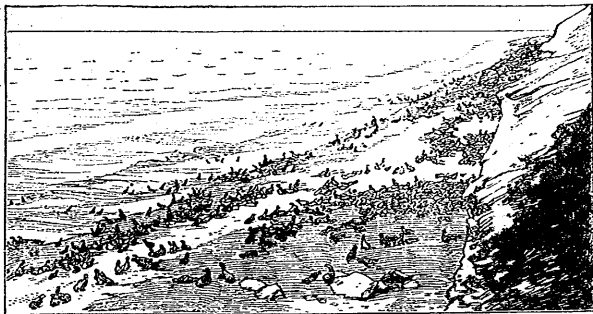
水産業



樺太に於ける棒乾の場

しかし森林は甚だ多くて、とまづえぞまつからまつなどの木材がたくさんに伐出される。随つて大泊豊原には製材業及びバルプ製造業が盛である。樺太山脈の南の部分では石炭が採掘される。

近海からはさけます。たらにしんが盛に漁獲される。漁期は大い夏で、この時期には他の地方から來て、漁業に従事するものが多い。水産業は實にこの地方第一の産業である。



海豹島のつとせ

海豹島はおつとせいの繁殖する處で、其の繁殖を保護するために、勝手に捕獲することを禁じられてゐる。夏から秋にかけて、無數のおつとせいがこの島の海岸に群集してゐる有様は、誠に奇觀である。

四 都邑交通

樺太地方は都邑が少い。主なるものは大泊・豊原・真岡である。

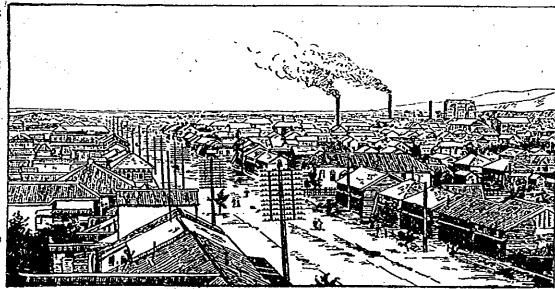
大泊は樺太地方の門戸で、稚内・小樽・函館の諸港と航路

が相通じ、殊に稚内との間には鐵道連絡船が往來してゐる。鐵道の幹線は大泊を起點とし、豊原を経て、オホーツク海の沿岸に至る。豊原は政治の中心地で、真岡は水産物の集散地である。

第三 臺灣地方

一 區域

臺灣島と澎湖諸島とを合はせて臺灣地方といふ。この地方は行政上、五つの州と二つの廳に分たれ、これを總

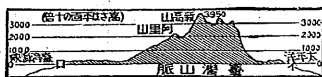
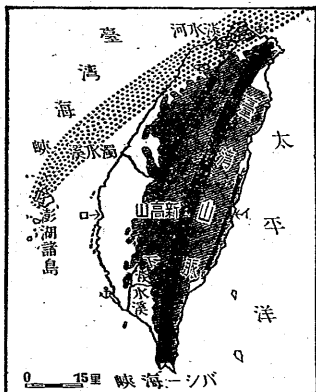


豊原の市街(大通)

轄してゐる臺灣總督府は臺北にある。

二 地勢

臺灣地方の地勢と畧圖と断面圖

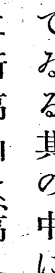


一海峽を隔てて、アメリカ合衆國領のフィリピン群島と相對し、西は臺灣海峽を隔てて、支那と相對してゐる。澎湖諸島は臺灣海峽にある。

山·平地

臺灣島の東部は大い山地で、西部は平地が多い。東部の山地は、高い山脈が幾つも相並んで南北に連なつてゐて、地勢が極めてけはしい。其の主脈は臺灣山脈で、本

島 島の分水嶺をなしてゐる。其の中には富士山よりも高い山々があつて、殊に新高山は、高さが三千九百五十メートル、我が國第一の高山である。



東部の山地の東の斜面は傾斜が急で、海岸が處々絶壁をなしてゐる。それ故、道路も開けず、良港も少く、陸上、海上、共に交通が不便である。随つて産業も發達してゐない。しかしこの山地の西の斜面は、東の斜面よりも傾斜がよほどゆるやかで

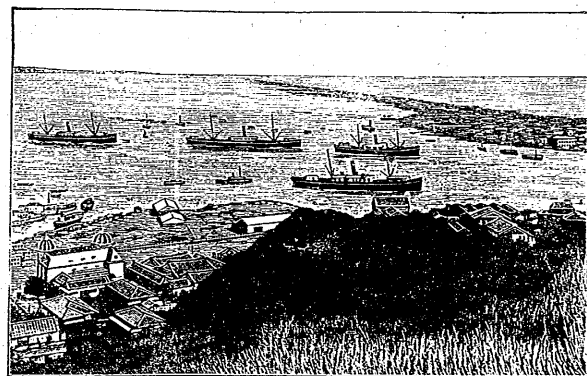


山 高



新 高 山

海岸



其の上、人口の密な西部の平地に接してゐるので、次第に交通の便が開け、産業が起つて来る。

西部の平地は低くて、海岸には遠淺の處が多く、海岸線の屈曲が少い。随つて西海岸には良灣がほとんどなく、港には淡水河の下流を利用した淡水と、海岸に設備を施して港にした高雄とがあるばかりである。

北部の東支那海沿岸には、基隆

臺灣
地圖

がある。この港は實に臺灣唯一の自然の良港で、港の設備もとのつてゐる。

臺灣山脈から流れ出る主なる川は、淡水河、濁水溪、下淡水溪で、何れも西部の平地を流れてゐるが、川水が季節によつて著しく増減するので、船の交通にはあまり利用されない。

しかしこれ等の川からあまたの疏水運河が開かれて、灌漑に利用されてゐる。

三 産業

臺灣地方は、我が國中で緯度が最も低い處である上に、近海に暖流があるので、年中、氣候が暖かく、冬季、新高山



灌漑の方式

の頂上でも雪の積ることは珍しい。嘉義から南は熱帯にあつて、氣温が殊に高い。又一般に四季の區別がはつきりしない。かやうに氣温が高い上に雨量も多いから、樹木が繁茂し、大きなひのき、くすのき、熱帯植物のが生じまゐる。びんらうじなどが森林をなして



水牛を使つて耕作する所

臺地二
臺地二



さとうきび畑

く暑さに堪へるので、耕作に使用され、臺灣では農業に缺くことの出来

臺灣の主な農産物の産額比較
(年九正大) 圓萬千七億一約額産年)

米	さとうきび	いも	バナナ	その他
---	-------	----	-----	-----

る。又バナナ、パイナップルをはじめ、色々な熱帯の果物もたくさんにみえる。家畜には水牛、豚などがある。水牛は性質がおとなしく、力が強く暑さに堪へるので、耕作に使用され、臺灣では農業に缺くことの出来

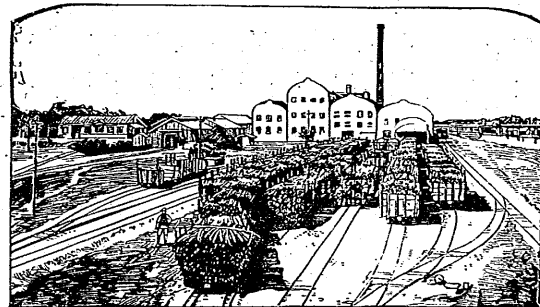
ないものになつてゐる。

臺灣は農業が盛で、米、さとうきび、さつまいも、バナナ、茶、落花生等を多く産する。米と茶

は主に中部の平地から北部の平地にかけて産し、米は年二回收穫される。茶は臺北其の他で精製され、海外にも輸出される。



南部の平地にかけて栽培され、屏東、嘉義をはじめ各地の製糖工場で、粗糖・精糖に製造される。粗糖・精糖は臺灣第一の産物で、多く内地に送られ、粗糖は主と



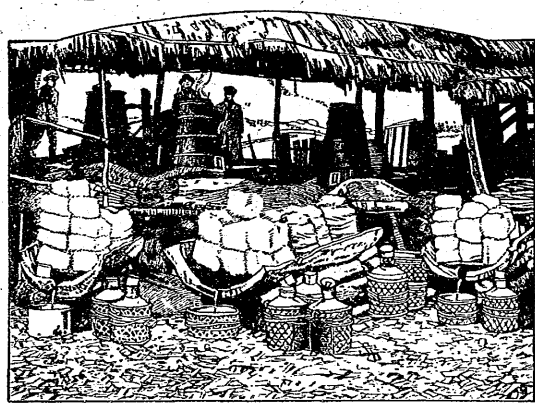
製糖工場



阿里山のひのき林

中には年輪がおおよそ三千、直径が二十餘尺に及ぶものも

して精糖に製造される。我が國で使ふ砂糖は、大部分は臺灣産のものである。臺灣山の脈には、ひのきの良材が多く、



粗製樟腦工場

ある。阿里山では盛にこの良材を伐出し、鐵道を利用して、各地に輸送する。随つて製材業も處々に起り、殊に嘉義には東洋屈指の大製材所があつて、製材高が甚だ多い。

中部北部の山地から平地にかけての一帶の地では、くすのきから樟腦及び樟腦油を製し、基隆を経て内外各地に送り出す。樟腦は本島の特産物で、外國にも有名である。

上に述べた製糖製材製茶等の外にも、アルコールの製造、夏帽子の製造など種々の工業が、近頃著しく進歩して、工業品の總産額は農産物の總産額を凌ぐやうにな

鑛業

つて來た。

鑛産物の主なるものは、金と石炭である。何れも北部に産し、金は金瓜石、瑞芳が主産地で、石炭は基隆の附近が主産地である。

水産業

水産業は近年急に發達して、たひかつをの漁獲高が多く、魚類の養殖も盛である。又西海岸では砂濱を塩田に利用し、天日によつて塩を製してゐる。

四 交通

陸上の交通

西部の平地には鐵道の便が大いに開けてゐて、其の幹線は基隆を起點として南方に通じ、臺北をはじめ、主なる都會の連絡をとつてゐる。又東部の太平洋沿岸地方

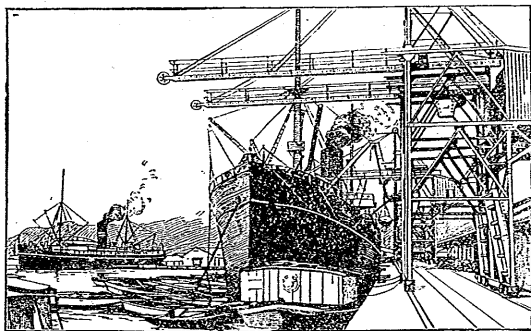
海上の交通

にも、南北に通ずる鐵道がある。

臺灣には良港が少いので、海上の交通は不便である。しかし北部の基隆と南部の高雄には港としての設備がととのつてゐるので、船の出入が便利である。随つて内地の諸港をはじめ、支那、東南アジアの諸島の各地の港と航路が開けてゐる。

五 住民

臺灣地方の人口は三百八十餘萬である。その大部分は



支那民族で、大てい西部の平地に住まつて、農業商業を營んでゐる。内地から移住してゐるものは約十七萬、又土人の數は十餘萬である。この土人は多く山地に住まつてゐる。

六 都邑 附 澎湖諸島

西部の平地は産業が發達し、交通も便利であるから、人口が割合に多く、住民の數が臺灣地方の人口の九割餘に當つてゐる。随つて都邑が多く、其の主なるものは鐵道の幹線に沿つてゐる。

基隆は臺灣の門戸で、船の出入が多く、商業が盛である。臺北は政治、商業、陸上交通の中心地で、道幅が廣く、清潔

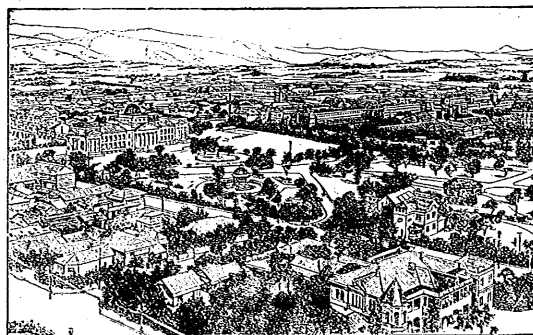
で、洋風の大きな建物が立並んでゐる。臺北から南には臺中・嘉義・臺南・高雄・屏東等の都會があつて、何れも商業の小中心地となつてゐる。又嘉義・屏東は工業



臺北の街市圖

が盛な處で、高雄は海陸交通の要地である。

東海岸には花蓮港がある。其の附近には近頃内地人の村が多くなつて、さたうきびの栽



臺北の街市

澎湖諸島

培が次第に行はれて來た。

澎湖諸島は岩の多い低い島であるが、臺灣海峡にあるので、交通上の要路に當つてゐる。其の中で、最も大きいのは澎湖島で、海岸線は出入が多く、海軍要港の馬公港がある。

第四 朝鮮地方

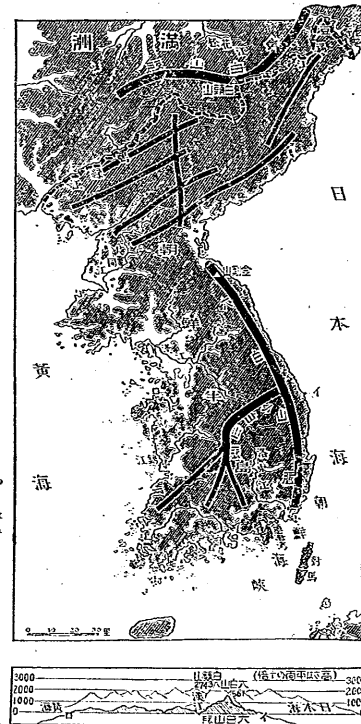
一 區域

朝鮮半島と其の近海の島々とを合はせて、朝鮮地方といふ。この地方は行政上十三道に分たれ、これを總轄してゐる朝鮮總督府は京城にある。

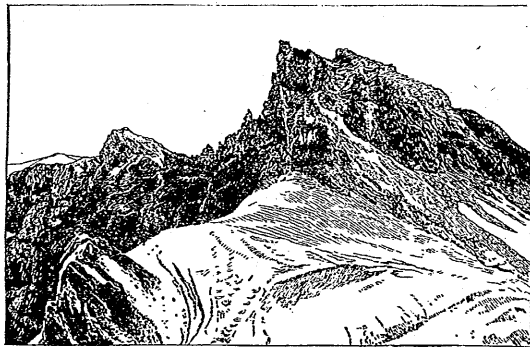
二 地勢

朝鮮半島は、日本海と黄海との間に、北から南に向つてつき出た半島で、長さが二百餘里、南は朝鮮海峡を隔てて九州地方と相對してゐる。北は滿洲及びシベリヤと地つゞきで、鴨綠江・豆滿江・白頭山等が境となつてゐる。

朝鮮地方の地勢
略圖と断面圖



山



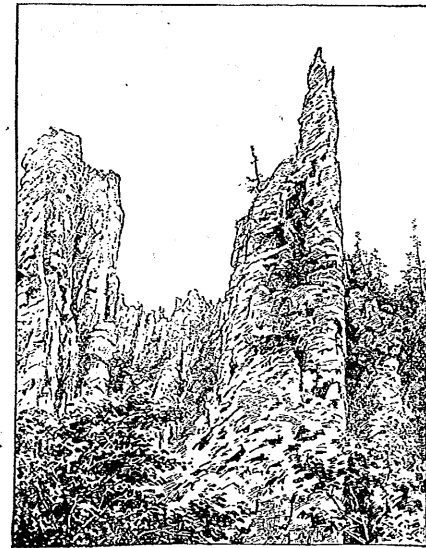
白頭山の頂上

朝鮮半島は、山地が多く、殊に北部は南部よりも山地に富み、大部分が高原狀になつてゐて、北に行くに従つて、次第に高く、國境の邊には長白山脈が東西に連なつてゐる。この山脈の主峯の白頭山は、鴨綠江・豆滿江、及び滿洲の松花江の分水嶺となつてゐる。南部には大白山脈が南北に連なつてゐて、日本海方面と黄海方面との分水嶺となつてゐる。其の北部の金剛山は景

川平地

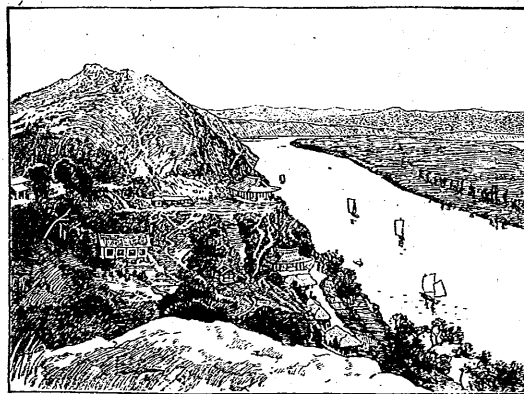
色の美しいので名高い。大白山脈の南部から分れて西南の方に連なつてゐる小白山脈は、黄海方面と朝鮮海峡方面との分水嶺となつてゐる。

大白山脈は東にかたよつてゐるので、日本海方面は土地が狭く、傾斜が急で、大きな川も平地もなく、産業も進まず、陸上の交通も不便である。しかし、黄海方面と朝鮮海峡方面とは、土地が廣く、傾斜



金剛山の中勝景萬物相

海岸



平壤 牡丹 臺 大同江

がゆるやかで、大同江、漢江、洛東江をはじめ、大きな川が幾つもある。これ等の川は水量がゆたかでなく、冬は結氷するものもあつて、大てい水運の便は少いけれども、下流は灌漑に利用される。随つて下流沿岸の平地では、農業が發達し、都邑も多く交通も便利である。

日本海方面は海岸線の出入が少くて、良灣が少い上に、産業も陸上の交通も發達し

てゐないから、元山港の外、よい港がない。

黄海方面と朝鮮海峡方面とは、港に利用される灣が多く、又産業も進み、陸上の交通も便利で、釜

山、仁川をはじめと

して商港が多く、鎮

海は海軍の要港と

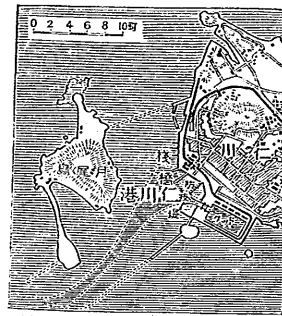
なつてゐる。

黄海方面は、潮の干

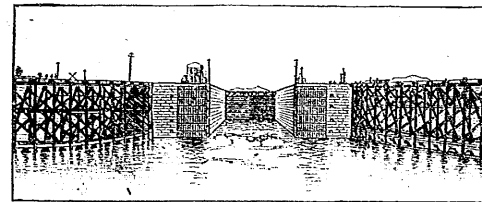
満の差が大きい。殊に仁川港では其の差

が三十尺にも及ぶので、干潮の時には船

の出入が極めて困難である。それ故、三池港にあるやう



仁川港の圖



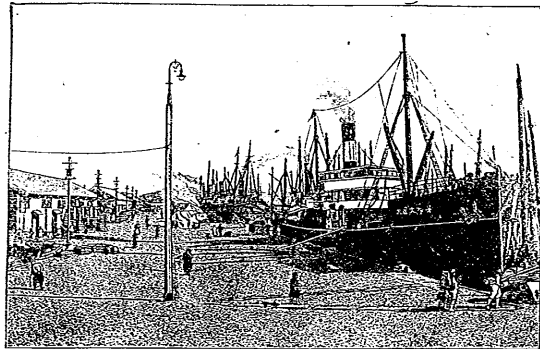
仁川港水門の側面

な特別の設備を施し、船の出入が出来るやうにしてあ

る。

三 産業

農業



仁川港の朝鮮地方は雨量が少い上に、古來樹木の保護が行届かなかつたから、山地の大部分は荒れてゐる。又平地も灌漑の便が乏しく、原野が多くて耕地が割合に

少い。しかしそれにもかゝらず、農業は昔から朝鮮第一の産

業となつてゐて、住民の大部分は農業者である。近年、水



群山港に於ける米の積出し

源の涵養法や灌漑の工事が進んで、耕地が著しく、たの農産物の



煙草の耕作

の涵養法や灌漑の工事が進んで、耕地が著しく、たの農産物の

額が大いに増加して来た。農産物の主なるものは、米・大

豆・麥で、米は釜山群山から、大豆

は釜山・仁川

から内外各地へ

積出される。

又中部から南で

は煙草・綿の栽培

が次第に盛に行

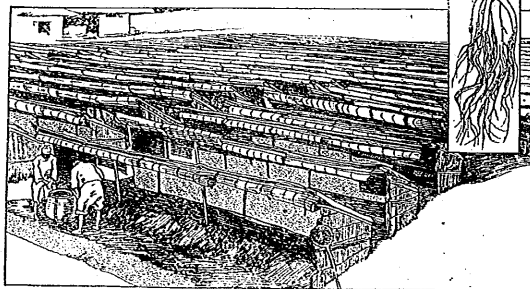
は、開城附近では古來、朝鮮人蔘が

栽培されてゐる、朝鮮人蔘は朝鮮の

特産物として知られてゐるもので、薬用として支那へ



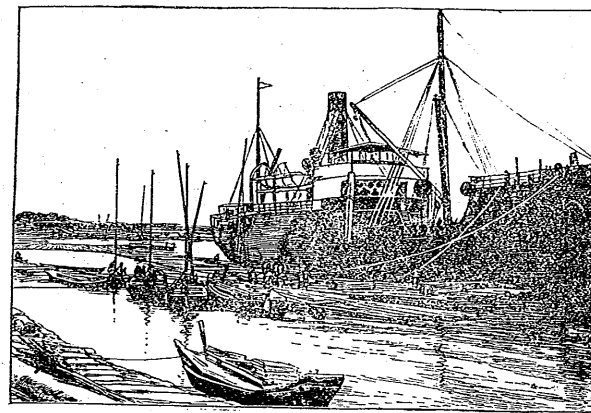
煙草の刈取り



人蔘と煙草

林業

多く送られる。

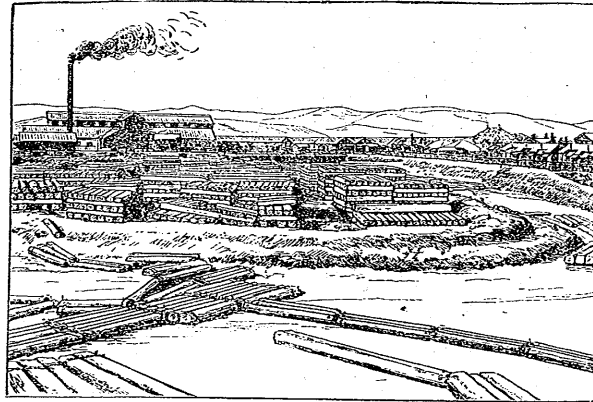


新義州の港に於ける木材の積出し

原野が多いので、牛の牧畜が行はれ、牛の頭数は我が内地よりも多く、各地に牛市が開かれる。牛皮の産額も多い。鴨綠江・豆満江の流域には大森林があつて、からまつもみ等の良材が伐出され、川を下して、朝鮮各地に送られる。鴨綠江の流域は木材の産額が殊に多く、この川を下る木材

鑛業

は雲山鐵鑛は安岳をはじめとして、黄海方面の北部の



新義州に於ける製材所

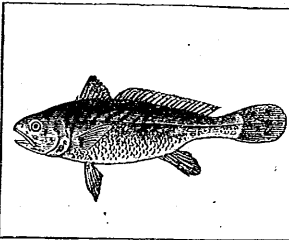
の主なる集散地は新義州にある。新義州には、嘉義の製材所と並んで名高い製材所がある。鑛産物の主なるものは金・鐵・石炭である。石炭の産地は平壤附近だけであるが、金鑛

我が國の金の産額の比較
(年十正大) 九百二十九萬

九州地方	朝鮮地方	關東地方	臺灣地方	其の他の地方
大	中	小	小	小

水産業

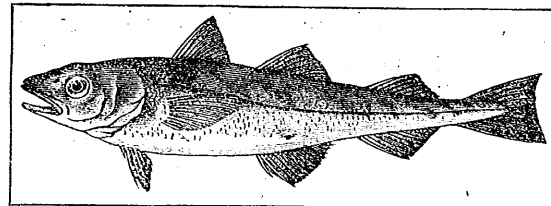
各地で採掘され、金鑛の産額は九州地方に次ぎ、鐵鑛の産額は我が國第一である。鐵鑛は多くは八幡の製鐵所に送られて、鐵に製鍊されるのである。



水産業は近年著しく發達して、さばい、わし、めんたい、ぐちなどの漁獲高が甚だ多い。

又黃海の沿岸には塩田があつて天日を利用して塩を製してゐる。

四 交通

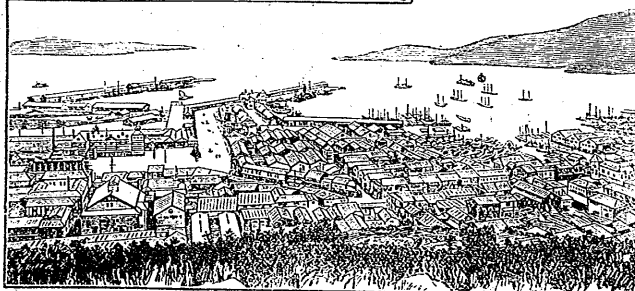
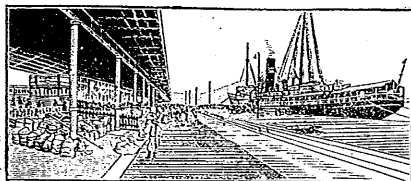


い た ん め

陸上の交通

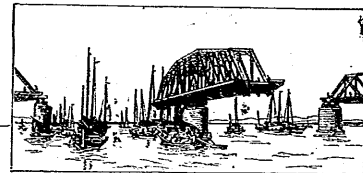
鐵道の幹線は朝鮮海峽方面及び黃海方面にあつて、釜山を起點として、北に向ひ、京城を経て、新義州に至る。釜山・京城間の線路を京釜線といひ、京城・新義州間の線路を京義線といふ。

釜山では釜山下關間を往來する鐵道連絡船によつて、山陽線との連絡の便があり、新義州では鴨綠江の鐵橋によつて、

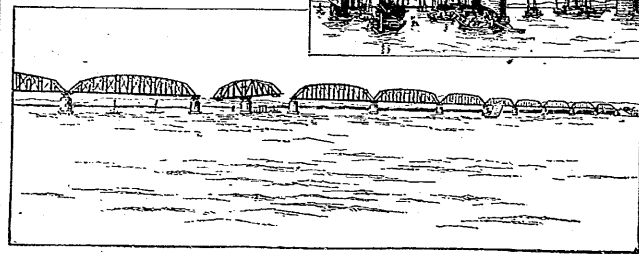


釜山港の大觀 釜山港の棧橋に於ける船車の連絡

南滿洲鐵道の安奉線に接續してゐる。此の鐵橋は長さが凡そ九町、其の中程の部分はたやすく廻轉が出来ゐる仕掛になつてゐる。毎日一定の時間を定めて、この部分を廻轉し、大きな船でもこゝを通つて、川を自由に上下するやうにしてある。これが名高い鴨綠江の開閉橋である。



幹線の外に、京城から元山に至る京元線、大田から木浦に至る湖南線があり、



鴨綠江の開閉橋

海上の交通

又清津から會寧に至る線路がある。この清津・會寧間の線路は、將來、南滿洲鐵道に接續する筈である。朝鮮の近海は春夏の季節には霧が深く、冬季には風波が荒いので、海上の交通は困難を免れない。けれども釜山・木浦・仁川・鎮南浦・元山の諸港は、四時ともに船の出入が容易で、釜山・仁川は外國航路の汽船も多く出入し、貿易も盛である。



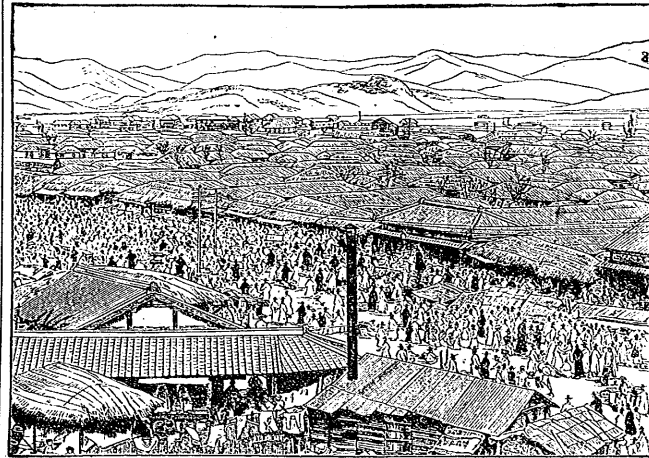
朝鮮人の荷賣り

五 住民都邑

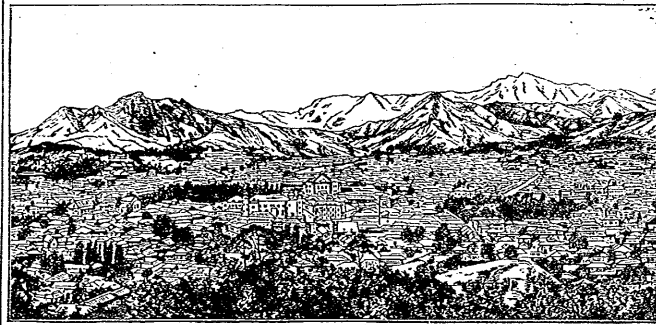
朝鮮地方の人口は凡そ千八百萬であるが、大部分は朝鮮人で、内地人は四十餘萬に過

ぎない。

住民の最も多い處は黃海方面の平地で、これに次ぐのは朝鮮海峽方面の平地である。随つてこの兩方面の平地には都邑が多く、大きなものは大てい農産物の集散地となつてゐる。殊に大邱、群山、平壤は米の主なる集散地である。中でも大邱には定期に大市が開

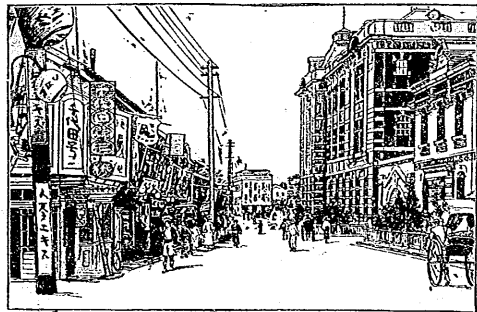


大邱の大市



京城の市街

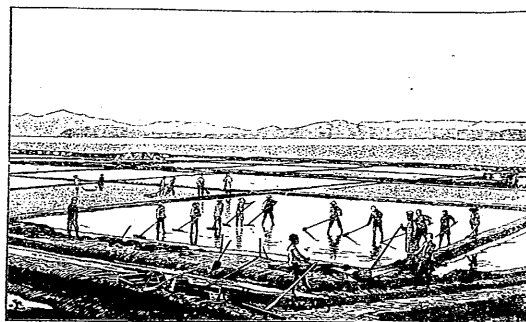
かれて、雜貨も取引される。京城は漢江の下流沿岸の盆地にあつて、政治交通の中心地となつてゐる。仁川は仁川港があるの處で發達した處である。平壤は朝鮮北部の名高い都會で、



京城内の地人の町

鎮南浦は其の門戸に當つてゐる。

日本海方面では元山・清津・羅南が主なる都會である。



關東州の鹽田(雙島湖)

は旅順にある。

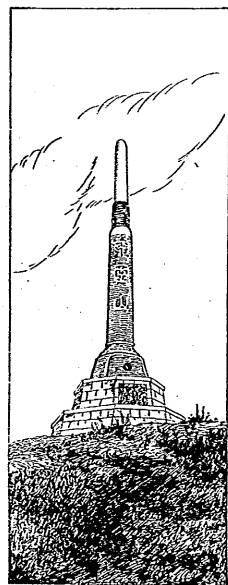
第五 關東州

關東州は滿洲の遼東半島の南端部で、我が國が支那から租借してゐる處である。面積二百餘方里、人口約八十萬、うち内地人は約九萬である。此の地方を治める關東廳

地勢産業

海岸

旅順

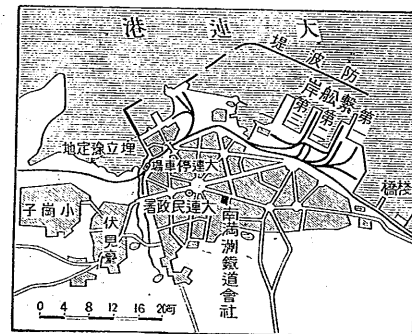


旅順の山上の記念碑

州内は山が多くて、平地が少く、農業は盛でない。しかし近海では漁業が行はれ、處々の砂濱では、天日を利用して塩を製してゐる。海岸線は出入が多く、黃海の沿岸には旅順・大連の二港がある。旅順は港口が狭く、港内も浅いので、港として大連に及ばない。しかし旅順は州内政治の中心地である。又其の附近には明治二十七八年並びに三十七八年の兩戰役に關する名高い戰跡が多い。

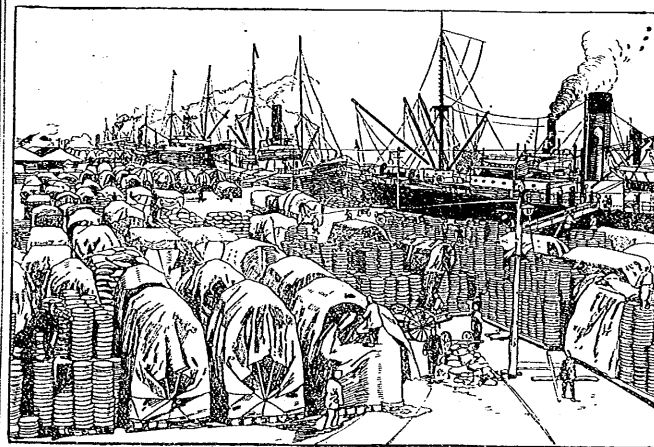
大連

大連は滿洲の門戸、世界交通上の要地で、其の港は廣



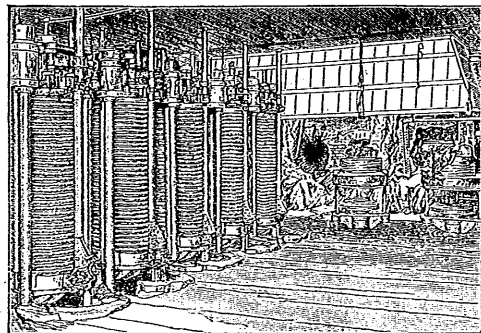
大連港の圖

がよくと、のひ、冬も港内が結氷しないから、四時、船



大連港頭の埠

の出入がしげく、我が内地及び支那の諸港との海上の交通が便利である。又この地を起點とする我が南滿洲



豆粕製造工場

鐵道は、東支鐵道、京奉鐵道と連絡し、世界鐵道幹線の一部となつてゐるから、滿洲支那本部、シベリヤ各地との陸上の交通も便利である。滿洲からの重要輸出品たる大豆、豆粕、石炭は、主としてこゝから我が内地及び支那本部に積出され、滿洲への重要輸入品たる我が

るのである。

豆粕は大連をはじめ、滿洲の各地で滿洲産の大豆を原料として製造し、大部分は大阪・神戸に送り出すのであるが、其の生産高は大連が第一である。

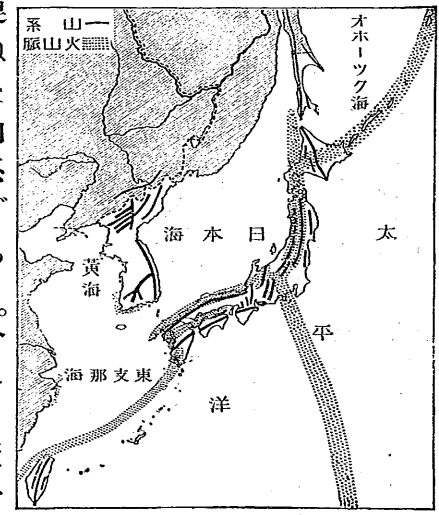
第六 日本 の 總 説

日本列島は、山岳丘陵が到る處に起伏し、殊に本州の中央部は地勢が極めてけはしく、三千メートル以上の高山が少くない。主なる山脈は中央部から西南又は東北に向つて列島を縦に通じ、相連なつて幾つもの山系をなし、其の中の主なるものが列島の大分水嶺となつて

山

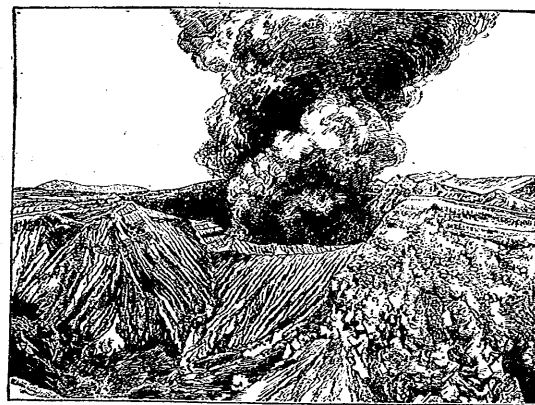
ゐるのである。

西南に向ふ大分水嶺は、飛驒山脈・中國山脈・筑紫山脈を連ねた山系と、赤石山脈・紀伊山脈・四國山脈・九州山脈・琉球列島の山脈・臺灣山脈を連ねた山系とである。東北に向ふ大分水嶺は、三國山脈・奥羽山脈・蝦夷山脈・樺太山脈を連ねた山系である。外になほ千島列島を走るものもある。



日本 の 山 系 の 圖

これ等の山系は大體三つの大きな弓形を造つてゐるので、列島の形もこれに伴なつて自然に三つの弓形を



阿蘇山の噴火口

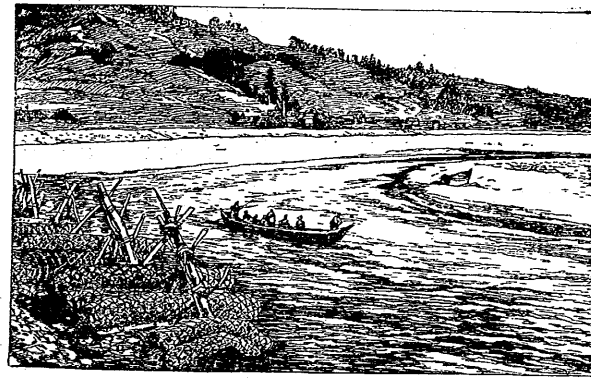
なし、中央部の弓形には北海道本島、本州、四國、九州があり、東北部の弓形には千島列島、西南部の弓形には薩南諸島、琉球列島、臺灣がある。これ等三つの弓形と樺太、朝鮮とによつて、日本海、オホーツク海、東支那海が區劃されてゐる。

火山脈は、富士火山脈が本州の中央部で日本列島を横ぎつてゐる外は、多くは上に述べた山系に沿つて、列島を縦に通つてゐる。これ等の火山脈中には、富士山をはじめ圓錐形の火山が多く、たえず煙を噴いてゐるものも少くない。一般に景色が美しく、處々に温泉が湧出てゐるので、保養遊覽に適する處が多い。



温泉 岳

川



富 士 川

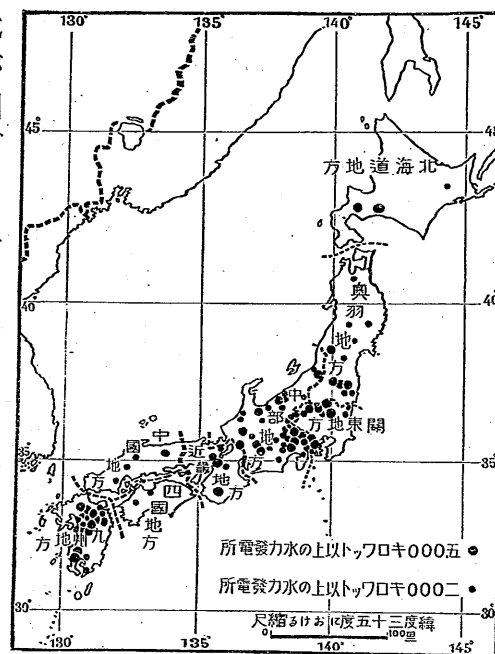
のになると、家がくづれ、地が割れ、人畜が死傷することもある。又地勢が複雑であるから、交通は不便であるが、處によつて氣候や地味が違つてゐるので、天産物の種類は多い。

日本列島の中央部から北では、列島を縦に通つてゐる山系が大分水嶺となつてゐるから、川は太平洋方面のものと、日本海方面又はオホーツ

ク海方面のものに分れてゐる。又中央部から南では、二條の主なる山系が大分水嶺となつてゐるので、川は太平洋方面のものと、日本海方面、東支那海方面のものに分れてゐる外、なほ瀬戸内海方面のものもある。

川は何れも水量がゆたかであるにもかゝらず、流域に山地が多いから、大てい流が早く、流路の屈曲も多いので、水運の便が少く、雨後には、しばしばあふれて、害をすることもある。しかし水量の多いことは、灌漑には便利であつて、農業の發達を助けることが多く、殊に米作の發達を促してゐる。又流の早いことと水量の多いことは、發電に便利であるから、近年、水力電氣の事業が急

に發達し、其の電氣は電燈電車の動力、工場の動力などに廣く利用されてゐる。



我が國での主なる農業地であつて、交通も便利で、都邑

又川の沿岸の平地は産業交通に利用され殊に大きな川の下流や川口附近の海岸には、割合に広い平地があつて

平野

が多い。

平地の主なるものは關東平野・濃尾平野・越後平野・筑紫平野及び近畿地方の諸平野である。中でも關東平野・濃尾平野・大阪平野は、商業・工業が著しく發達し、都邑の數も極めて多い。東京・大阪をはじめ我が國の大都市は、多くはこれ等の平野にある。

我が國の耕地は、總面積の一割餘に過ぎないが、氣候・地味共に農業に適してゐるので、農業は古來、我が國第一の産業となつてゐる。

農産物の主なるものは米・麥・大豆・さつまいもである。又さとうきび・茶・煙草・果物の産額も少くない。これ等の農

産物は大部分が食用に供せられ、一部分が工業品の原料に用ひられてゐるが、製茶蜜柑が多少輸出されるのみで、其の他は大てい國內の需要を充たすに足らず、米でさへも輸入を待たなければならぬ。我が國の工業上、最も必要な原料たる綿は、殆ど全部を外國に仰いてゐるので、其の輸入額の多いことは、我が國の輸入品中での第一位を占め、大部分がアメリカ合衆國・印度から來るのである。

我が國の人口は年々増加して、食料の需要が多くなり、

我が國の主なる農産物の産額比較

年産約四十八億圓（大正九年）



養蠶業

又工業の發達するにつれて、原料の需要も増加する。然るに耕地の擴張、農業の發達は、これに伴はないから、今後、農産物の輸入は益々多くなるであらう。農作物の肥料には、にしん・いwashなどのしめ粕、其の他人造肥料が盛に用ひられ、其の産額が近年著しく増加してゐる。しかし滿洲から輸入される豆粕の額も少ない。

我が國は世界で一二を爭ふ養蠶國で、繭の産額が多く、生絲・絹織物の製造の技術も進んで、其の製造高も多い。養蠶業の殊に盛なのは、長野・愛知・群馬・埼玉の諸縣で、これ等の諸縣では製絲業も随つて盛である。

絹織物業は主として福井・京都・石川・東京・群馬の諸府縣に發達し、福井・石川の二縣は羽二重の主産地である。生絲は我が國第一の輸出品で、羽二重も主なる輸出品の一つとなつてゐる。この二品は何れも大部分が、横濱からアメリカ合衆國及びフランス・イギリスに送られるのである。

林業

森林は其の面積が我が國の總面積の約五割に當つてゐて、各地で木材が伐出されてゐる。木材の主なるものは、木曾谷・阿里山のひのき、米代川・吉野川各流域の杉、鴨綠江流域、北海道本島各地のとどまつ、えぞまつで、産額が年々増加してゐる。

木材の産額が増加するにつれて、製材の業も發達してきた。秋田縣の能代港、臺灣の嘉義、朝鮮の新義州にある製材所は、其の規模が殊に大きい。

木材は、産額が少くないにもかゝらず、需要が年々増加するので不足を告げ、アメリカ合衆國・カナダから輸入したものでこれを充たしてゐる。

パルプの製造業も近年漸く進歩し、北海道本島の苫小牧や樺太各地のパルプ工場で生産する高が、次第に増加して、今や需要の大部分を充たしてゐる。

牛・馬は諸地方で飼養されて、大てい需要を充たしてゐるが、我が國は氣候・地味・地勢の關係上、牧畜はあまり振

牧畜

水産業



太平洋近海に於ける漁獲

はない。殊に羊の牧畜が進まないから、近年著しく需要を増してきた羊毛は全部、毛織物は一部分、之を外國から輸入してゐる。

近海には暖流寒流があつて、それぐ、特有な魚類が多く、随つて水産業は盛である。水産物の中、漁獲高の最も多いのは、いわし、かつを、にしんである。いわし、かつを、にしんは暖流の流れてゐる太平洋近海に多く、いわしは主として本州

北海道本島の近海で、かつをを主として本州四國九州の近海で取れる。にしんは寒流の流れてゐる北海道本島の近海が其の主なる漁場となつてゐる。いわし、にしんは食料に供せられ、しめ粕にも製せられる。又乾物、塩漬、罐詰等に製造せられて、諸外國にも送られる。いわしにしんの外に、かにの罐詰、するめなども輸出される。

瀬戸内海の沿岸、朝鮮の西海岸、臺灣の西海岸、關東州の海岸には處々に塩田があつて、塩を製してゐる。朝鮮臺灣、關東州では、所謂天日製塩法で、火力を用ひず、太陽熱によつて製塩してゐる。

沿海、川湖に於ける魚類、貝類等の養殖業も、漸次進歩し、

鑛業

有明海・廣島灣のかき、志摩半島の眞珠、東京灣ののりの養殖は、殊に名高い。

鑛産物の主なるものは、石炭・石油・銅・金である。石炭は産額が最も多く、主として筑豊・石狩・常磐の諸炭田で採掘されて、國內の需要を充たし、其の上、支那・其の他、東洋各地に輸出される。銅は足尾・別子・日立・佐賀・關・小坂等の諸鑛山で採掘・製鍊される額が甚だ多い。それで

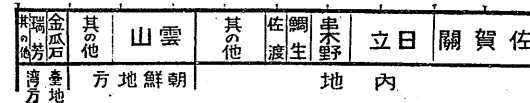
我が國の主なる鑛産物の産額の比較
(年十正大) 圓萬千六億三約額産總の物産鑛



我が國の主なる銅産地の産額の比較
(年十正大) 斤萬百千九約額産總の銅



我が國の主なる金産地の産額の比較
(年十正大) 匁萬十九百二約額産總の金



我が國は世界に於ける銅の主要の産地となつてゐる。金鑛は静岡・大分・鹿兒島の諸縣、及び朝鮮の西北部、臺灣の北部に産し、其の製鍊高の多い處は佐賀・關・日立・朝鮮の雲山である。石油は新潟・秋田の二縣に産して、我が國の需要の過半を充たしてゐる。其の不足の分は主にアメリカ合衆國から輸入される。

鐵鑛は釜石・朝鮮の安岳等に産するけれども、産額が少い。それ故八幡の製鐵所では、支那から多量の鐵鑛を輸入してゐる。鐵の製鍊高は近年大いに増加して、他の金屬の製鍊高を凌ぐやうになつた。しかし造船業をはじめ諸種の工業が發達するにつれて、鐵の需要は益々増加

工業

するばかりで、供給はなほ大いに不足するので、アメリカ合衆國、支那及びイギリスから鐵や鐵材を多く輸入する。

我が國は石炭の產出高が多く水力の利用も容易であるから、交通機關の發達、學問、技術の進歩と共に、工業は近年長足の進歩をなし、各地に諸種の大工場が出來て、主として機械力によつて、内外國產の原料から多量の工業品を製作してゐる。これがために今では我が國が世界有數の工業國となつてゐる。殊に大阪灣の沿岸、東京及び横濱の附近、九州の北部、名古屋附近は、何れも國內の主なる工業地區であつて、製品の種類も產額も極

めて多い。

我が國の主なる工業品の產額の比較
(大正九年) 工業品の總額約十六億圓

生絲	綿織物	絹織物	綿織物	絹織物	其他
----	-----	-----	-----	-----	----

工業品の最も主要なるものは、純國產の生絲、絹織物と、外國から輸入した綿で造つた綿絲、綿織物で、其の產額はそれぐ遙かに他の工業品の產額を凌いでゐる。織物の發達に伴つて、色染工業も進歩し、染料の產額が増加して來た。

其の他、工業品の主なるものには、酒、醬油、肥料、洋紙、麥粉、ビール、メリヤス、陶器、砂糖、ガラス、マツチなどがある。

これ等の工業品は國內の需要を充たすのみならず、外

貿易

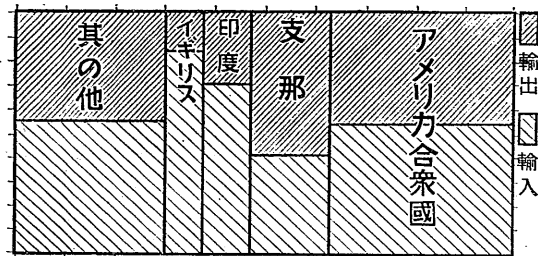
國へも輸出する。

我が國の主なる貿易品の貿易額の比較

生絲	絹織物	綿絲綿織物	その他	綿	鐵及び鐵材 機械類	その他
輸出	輸出	輸出	輸出	輸出	輸出	輸出
輸入	輸入	輸入	輸入	輸入	輸入	輸入

綿絲・石炭・陶器である。絹織物の主なるものは羽二重で、

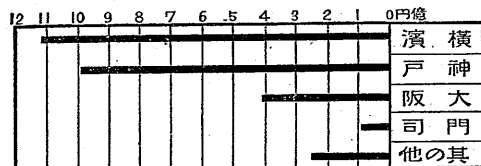
産業が発達し、交通が進歩すると共に、貿易も年々盛になり、年貿易額は三十億圓を超えてゐる。随つて、我が國は今では世界の主なる貿易國である。



主なる貿易取引の貿易額の比較

生絲と共に大部分がアメリカ合衆國へ、一部分がフランス・イギリスへ輸出せられ、

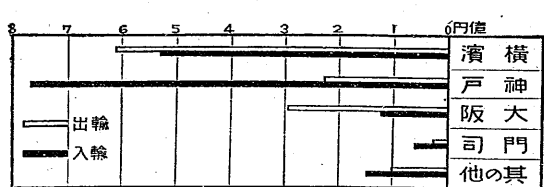
主なる開港場の貿易額の比較



綿織物・綿絲は主として支那・印度へ輸出せられる。輸入品の主なるものは綿、鐵及び鐵材、機械其の他の鐵製品、豆・粕・砂糖・木材・羊毛である。

機械其の他の鐵製品は主としてアメリカ合衆國及びイギリスから、鐵鑛は主として支那から

主なる開港場の輸出入額の比較



交通

輸入される。我が國の主なる開港場は、横濱・神戸・大阪・門司で、主なる取引先はアメリカ合衆國・支那・印度・イギリス・フランス等である。

産業の發達に伴つて、道路や鐵道も著しく延長して、國內の陸上交通が便利となつたのはいふまでもなく、國內の諸港は航路によつて互に連絡し、其の主なるものは諸外國の諸港とも航路が相通じて、内外共に、海上交通の便が大いに開けて來た。又航空事業も盛にならうとしてゐる。

鐵道

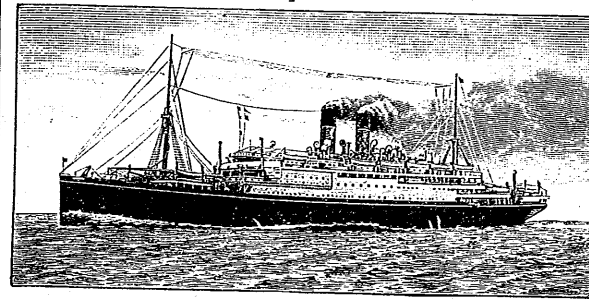
鐵道は其の延長が一萬マイルを超えてゐる。幹線は東京を中心として、北は奥羽地方・北海道本島を経て、樺太

航路

に至り、南は中部・近畿・中國の諸地方を経て、九州の鹿児島及び長崎に至つてゐる。又朝鮮を縦に走つてゐる幹線があつて、滿洲の我が南滿洲鐵道に連絡してゐる。これ等の幹線をつなぎ合はせるために、海上には鐵道連絡船が往來してゐる。支線に至つては其の數が一層多く、殊に關東・平野・近畿地方の諸平野・九州北部の諸平野では線路が網のやうであるといつてもよい位で、交通が極めて便利である。

航路は横濱・神戸・大阪を主なる起點として、内外各地の港に通じ、内外國汽船が盛に往來してゐる。交通の發達、造船業の進歩と共に、汽船・帆船の隻數も噸

通信



アメリカ航路の汽船

數も著しく増加し、汽船は總數が約三千隻で、中には一萬噸以上のものも少くない。汽船の總噸數は三百餘萬噸で、其の大部分は外國航路の船が占めてゐる。それ故、我が國は世界有數の海運業國として知られるやうになつた。海運業の發達に伴なつて、我が主なる港には、港に必要な設備をと、のへ、又航海上必要な處には燈臺が設けてある。

郵便電信電話の線は國內到る處に

通じて、通信の便は殆ど完備してゐる。

外國航路が發達するに隨つて、諸外國との郵便は益、便利となり、又海底電線に依つて世界の各地と連絡してゐるので、電信も便利になつてゐる。無線電信も次第に發達して、航海中の船との通信の外、諸外國との通信も出來るやうになつた。又無線電話も已に實用に供せられるやうになつた。

第七 アジヤ洲

一 總論

世界の陸地は之を六大洲に分つ。アジヤ洲は其の中で

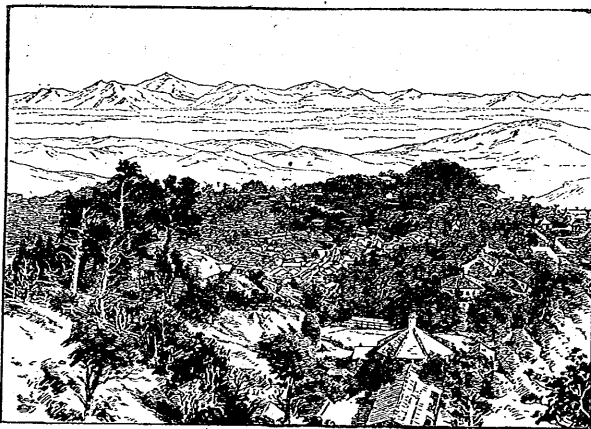
山地と産業

最も大きく、其の面積は世界の陸地の約三分の一あり、其の住民の總數は約九億で、世界の人口の半分よりも多い。世界の中で最も早く開けた支那や印度も此の洲の中にある。けれども今では大部分は歐米諸國の領地で獨立國は極めて少く、僅に我が國、支那、シヤム等である。

中央部は土地が極めて高く、パミル高原を起點として、ヒマラヤ山脈以下、幾つもの大山脈が諸方に走つて、本洲の主なる分水嶺になつてゐる。殊にヒマラヤ山脈は雄大無比の

アジヤ洲	アフリカ洲	北アメリカ洲	南アメリカ洲	ヨーロッパ洲	大洋洲
------	-------	--------	--------	--------	-----

六大洲の面積の比較



ヒマラヤ山脈の東部

大山脈で、主峯のエベレスト山をはじめ、八千メートル以上の高峯がたくさん立連なり、四時氷雪をいただいて、大空遙かにそびえてゐる。

これ等の諸山脈の間には、西藏、蒙古等の廣大な高原がある。又パミルの西にはイランの高原があり、更に其の西にアラビヤの高原がある。これ等の高原は雨量

が極めて少いので、川といふ川もなく、草原や沙漠^ばはるばると連なつてゐて、寒暑の差も甚しい、随つて住民は極めて少く、大てい遊牧の民である。

中央部の高地と海岸との間には、諸方面に低い大平地がある。其の中、北のシベリヤの平地と西の中アジヤの平地とは、相連なつて世界最大の平地をなしてゐる。シベリヤの平地は、大部分は寒氣が極めてはげしいので、産業が起らず、住民が甚だまれである。たゞオビ川



原 草 の ヤ ジ ア 中

低地と産業

エニセー川等の上流地方には、農業、牧畜が發達してゐる。中アジヤの平地は雨が少いので、草原が多い。それ故、一般に牧畜が主なる産業となつてゐるが、たゞ裏海及び其の他の湖の沿岸や、これ等の湖に流れ込む諸川の沿岸には、農業が行はれてゐる。

裏海は世界中で最も大きな湖で、其の水面は海洋の水面よりも低く、中アジヤの平地を流れる多くの川は大ていこの湖に入る。

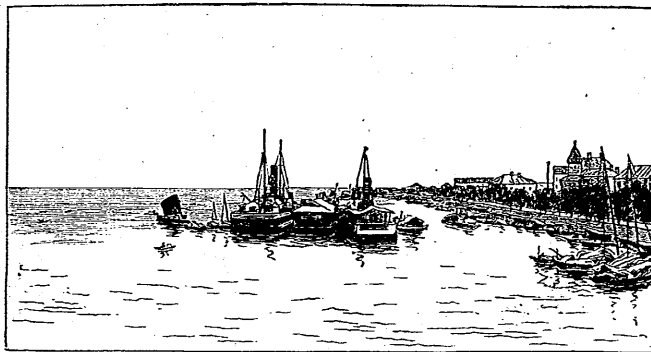
太平洋方面には支那平野があり、印度洋方面には印度平野がある。支那平野は揚子江、黄河等に灌漑され、印度平野はガンジス川、インダス川等に灌漑され、共に地味

が肥えてゐて、古來農業が大いに發達し、人口が甚だ密で、住民の数はアジャ洲の人口の約二分の一である。この兩平野に次いで開けてゐる處は、太平洋及び印度洋に流れ入る諸川の沿岸の平地や本洲東南部のマレ―諸島である。

交通

産業が盛で、人口が多い處は、都邑も多く、交通の便もよく開けてゐる。殊に鐵道は印度・ジワ・支那の東部に於て發達し、又シベリヤ・中アジャ・西部アジャ等でもおひおひ敷設される。

揚子江・ガンジス川は水量がゆたかで、流がゆるやかであるから、水運の便が多く、殊に揚子江は川口から上、六



漢口と揚子江

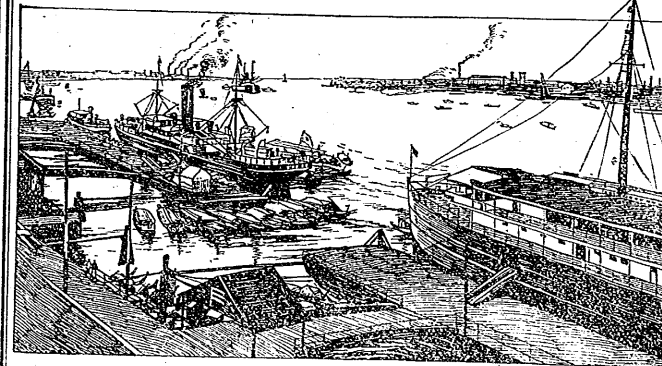
百餘里の間、汽船を通ずることが出来る。太平洋及び印度洋は世界海上交通の要路で、且又日本・支那・印度等産業の盛な處がこの方面にあるから、船の交通が盛で、沿岸には港が多い。これ等の港からは何れもヨーロッパ、南北兩アメリカ洲、大洋洲等、各洲の諸港と航路が相通じてゐて、我が國及び歐米諸國の船が、たえず

其の間を往來してゐる。我が横濱・神戸・支那の上海、イギリス領の香港、シンガポール及びコロンボ等はアジヤ洲に於ける海上交通及び貿易の中心地である。

北極海は殆んど年中結氷してゐるから、船の交通が甚だ困難である。

二 支那

支那は面積が我が國の凡そ十



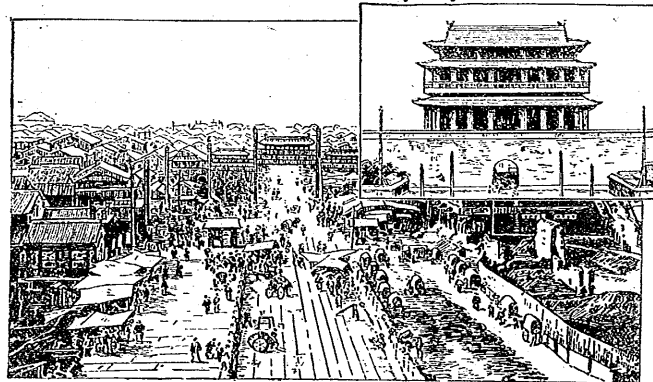
上海港

區域

六倍あつて、人口が世界の總人口の凡そ五分の一もある大國である。

國內は支那本部・滿洲・蒙古・新疆・西藏等の數部に分れてゐるが、このうちでよく開けてゐる處は、支那本部と滿洲である。首府北京は支那本部の東北部にあつて、城壁で圍まれ、内城外城の二部に分れてゐる。

支那本部の住民は其の數が支



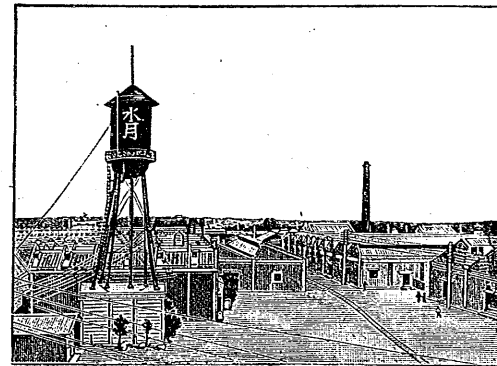
北京の街市と城門

支那本部
農業・工業

那の總人口の九割餘を占め、大部分は支那平野に住ま



高 粱 畑
 平野の北部は雨
 が少く、寒
 暑の差が
 甚しく、其
 の主なる
 ことに従事し
 て農業



上海の紡織工場

産物は豆類・高粱である。この平野の南部のうちで揚子

鑛業

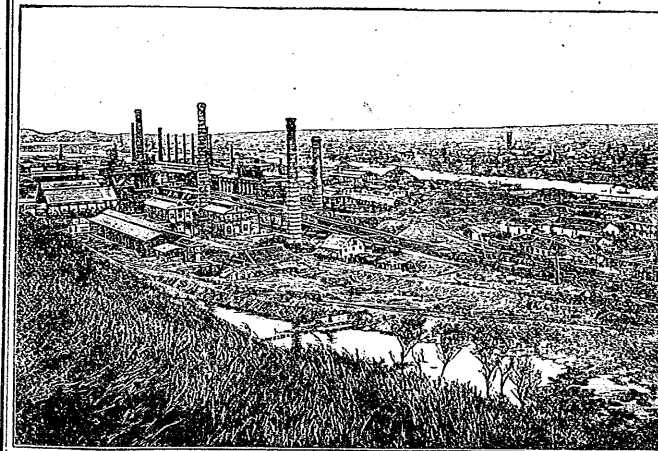
江の流域は、氣候が温暖で、且雨量が多いので、米・茶・繭・綿等の産額が多い。随つて製絲・製茶の業が各地に發達し、殊に上海では綿絲紡績業が盛である。又南方の珠江の流域でも米・茶・繭等の産額が多い。生絲・絹織物・茶は支那の主なる輸出品で、主として上海・廣東・香港から輸出される。

支那本部は鐵鑛・石炭などの鑛物が豊富で、近年著しく産額が増加してゐる。鐵鑛は漢口の東南にある大冶の鐵山で最も多量に採掘され、又石炭は主として天津の東北にある開平の炭坑と大冶の南方にある萍鄉の炭坑で採掘される。漢口の對岸にある漢陽の製鐵所では、

交通貿易

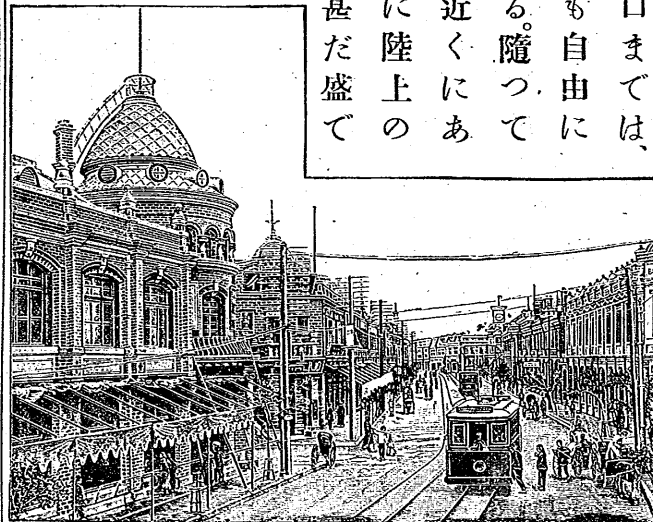
大冶の鐵鑛を原料とし、萍郷の石炭を燃料として盛んに鐵を製してゐる。又我が八幡の製鐵所でも大冶の鑛山から多量に鐵鑛の供給を受ける。

支那平野は比較的交通便利である。殊に揚子江は自然の大交通路で、其の本流も支流も大部分は、船が通り、江口から約二百八

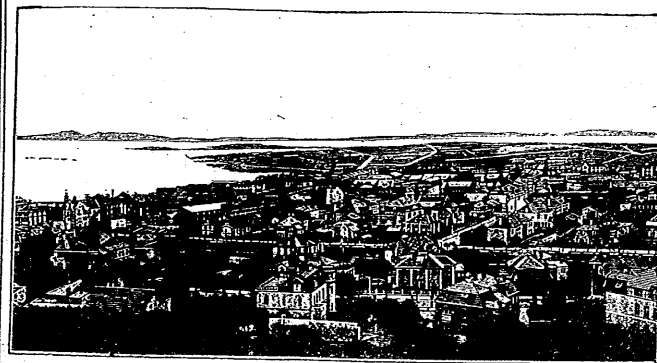


漢陽の製鐵所と漢口

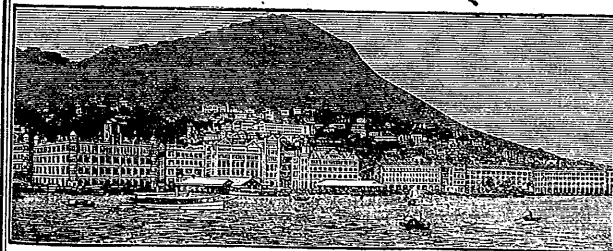
十里の上流にある漢口までは、海洋を航行する汽船も自由に往來することが出来る。随つて漢口と、揚子江の川口近くにある上海とは、水上並びに陸上の交通の要地で、貿易が甚だ盛である。



天津の日本居留地



京奉線は奉天に至つて、我が南
滿洲鐵道に連
絡し、京漢線は
漢口に至つて、
其の對岸から
南に向ふ粵漢
線と連絡を保
つてゐる。又津
浦線は京奉線
の要驛天津に
起り、南の方、揚

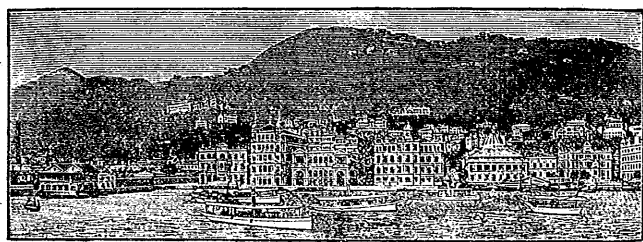


香

子江下流の浦口に至つて、其の對岸の
南京から上海に至る鐵道と連絡を保
つてゐる。

この外の主なる鐵道は膠濟線で、膠州
灣沿岸の青島に起り、濟南に至つて、津
浦線に連絡してゐる。

支那本部は海岸線の出入が少く、良港
に乏しい。海岸の主なる港としては、北
部の青島、南部の香港の二港があるば
かりである。しかし川を利用した港に
は天津・上海・漢口・廣東等の諸港があつ



港

滿洲

地勢氣候

て、共に海上交通の要地となつてゐる。中でも上海漢口・香港の諸港は、我が横濱神戸の二港と共に、本洲の太平洋方面に於ける交通及び貿易の大中心地で、香港は貿易額の多いことでは、東洋諸港中第一である。滿洲は支那本部の東北にあつて、面積は我が國より大きい、人口は我が國の五分の一にも足りない。こゝに在住してゐる我が内地人は八萬餘、朝鮮人は五十餘萬である。

滿洲は中央部に廣々とした平地があつて、東の部分と西の部分は大てい山地である。松花江はこの平地の北部を南から北に流れて、黒龍江にはいり、遼河はこの平

産業貿易

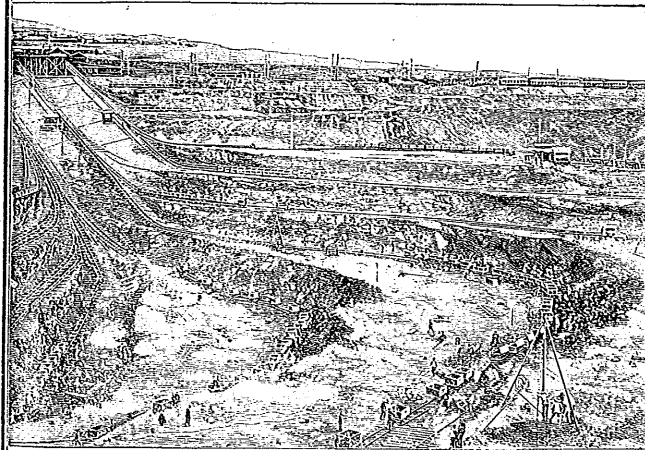


(近附街平四) 所藏貯の豆大

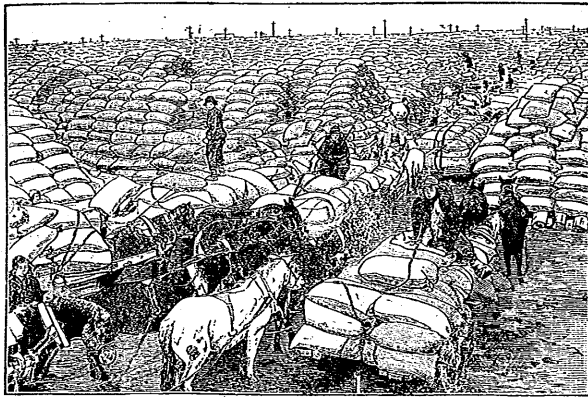
地の南部を北から南に流れて、渤海灣にはいる。この中央部の平地は地味が肥えてゐるにもかゝらず、冬の時期が長く、寒氣が甚だ強いので、未開墾地も多い。

平地の南部は農業が盛である。農産物の中、産額の多いのは高粱及び大豆である。高粱は主として滿洲人の常食に用ひられる。大豆はそのまゝ多量に輸出されるばかりでなく、豆粕・豆油の製造の原料

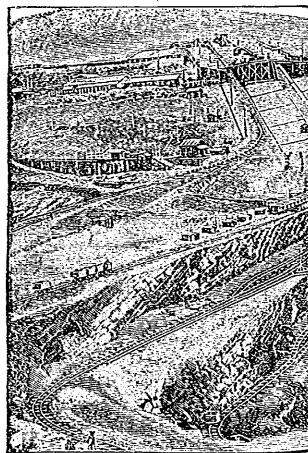
にも用ひられる。豆粕・豆油は主として大連營口で製造し、大豆と共にこゝから積出して、大部分は我が國に送られる。平地の北部は大部分が原野で、僅かに馬羊等を牧畜してゐるに過ぎないが、近年小麥の耕作が盛になつて來て、ハルビンで之を麥粉に製造してゐる。



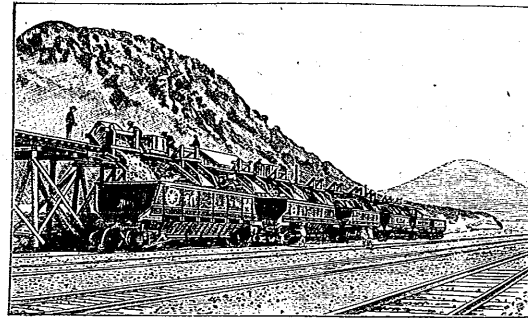
撫順炭坑の露天掘



長春に於ける大豆の野積み

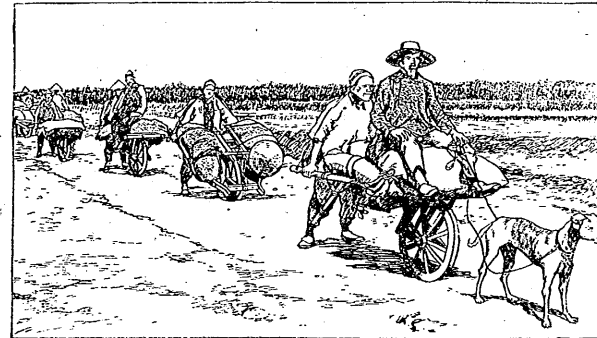


滿洲の東南部には處々に大森林がある。鴨綠江流域の森林では、日支兩國人協同の會社が木材を伐出し、鴨綠江を下してゐる。其の大集散地は新義州の對岸にある安東で、こゝでは製材業が盛であ

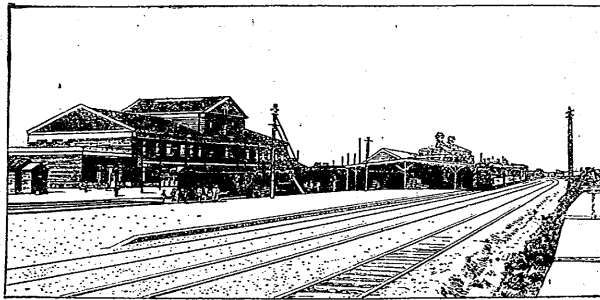


鞍山山に於ける鐵鑛の積み込み

る。満洲の南部には鑛産地が多い。中でも奉天の東にある撫順炭坑は、東洋屈指の大炭坑で、我が南満洲鐵道會社に屬してゐる。こゝで採掘された石炭は、大連から、外國にも積出される。



一輪車

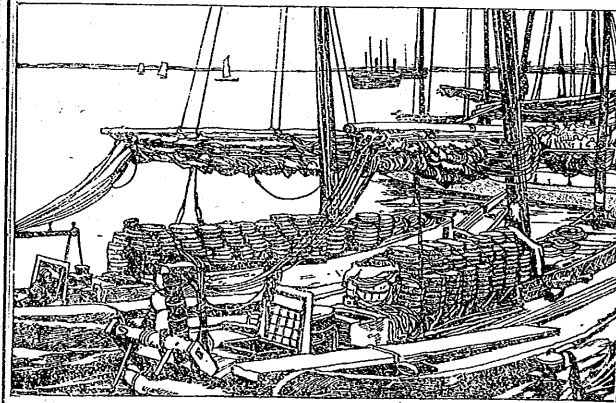


長春停車場

ほこの外、奉天の東南にある本溪湖の炭坑、西南にある鞍山の鐵山など、我が國人の關係してゐる鑛山が少くない。海岸の各地では天日を利用する製塩業が行はれ、又近海ではたひたら等が取れる。我が南満洲鐵道の本線は大連を起點として、北に向ひ、奉天に於いて、支線の安奉線及び支那の京奉線と會し、更に北に向ひ、長春に至つて東支鐵道と連絡する。東支鐵

道は長春から北の方ハルビンに至つて、ウラヂボストクから来る線と會し、西北に進んで、シベリヤの鐵道の幹線に連絡してゐる。南滿洲鐵道の支線は、安奉線の外になほ數線ある。

遼河松花江・黑龍江は何れも流がゆるやかで、水運の便が多く、滿洲の主なる交通路である。其の沿岸には處々に港があり、殊に遼河の川口の營



營、口、港

口は河海兩航路の連絡地で、頗る繁昌してゐる。これ等の川は冬期は結氷するので、船の往來は全く出來なくなるが、車馬が之に代つて氷の上を盛に往來する。鐵道の幹線及び支線の附近には都邑が多い。殊に南滿洲鐵道の沿線には都邑が多くて、我が内地人の在住してゐるものが少くない。

奉天は滿洲に於ける政治・交通・商業の中心で、又營口・安東は大連に次ぐ滿洲の主なる門戸である。長春・ハルビンは何れも陸上交通の要地で、長春は又大豆・木材の大集散地である。

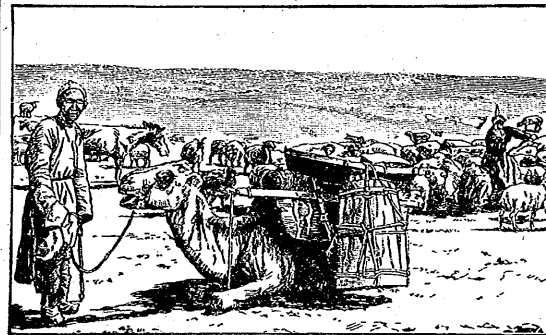
蒙古は内蒙古・外蒙古に分れてゐるが、大體沙漠の多い。



蒙古人の住家

して農業を営むものが次第に増加してきた。

高原で、住民は多くは水草を追うて轉住し、牧畜に従事してゐる。随つて皮類・羊毛が主なる産物になつてゐる。しかし内蒙古の東部と東南部には、定住



水桶を運ぶらくだ

我が國と支那との關係

我が國は古來、支那と關係が深いので、我が國の文明は支那の影響を受けてゐることが少くない。

我が國は明治三十七八年戰役の結果、支那から關東州を租借し、ロシヤから南滿洲鐵道を譲り受けた。其の上、近年支那から南滿洲及び東部内蒙古に於いて諸種の權利をも得たから、我が内地人のこの地方に在住するものが漸く多くなつて、今や十八萬を超え、其の事業も次第に盛になつてきた。なほ支那本部に在住する

我が國と支那の主なる貿易品の貿易額

年貿易額約四億七千八百萬圓(大正十年)

輸出超過約九千五百萬圓(同年)

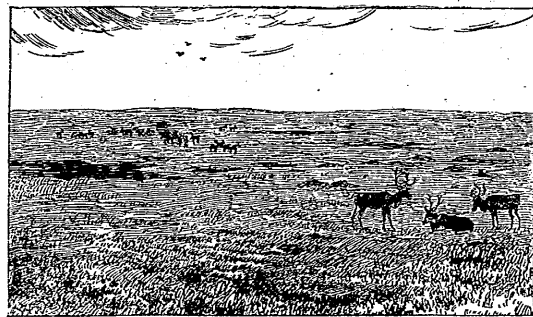
輸 入		輸 出	
其の他	絹織物	絹織物	其の他
	豆 糲	絹 絲	其の他
	鶏 卵	炭 糖	

我が内地人は六萬餘で、山東省をはじめ各地で商業、工業、海運業等諸種の業務に従事してゐる。随つて彼我の間の交通貿易も益發達し、彼よりは綿雞卵、豆粕、鐵鑛及び鐵等を輸入し、我よりは綿織物、綿絲、砂糖、石炭等を輸出してゐる。支那はアメリカ合衆國に次いで我が貿易上の主なる取引先である。

三 シベリヤ

シベリヤはソヴエト聯邦(ロシヤ)に屬し、其の面積は我が國の十九倍あるが、人口は七分の一に過ぎない。地勢は大體南が高く、北に向つて次第に低く、遂に平地になつてゐるから、オビ・エニセーなどをはじめ大

地勢産業



凍原と

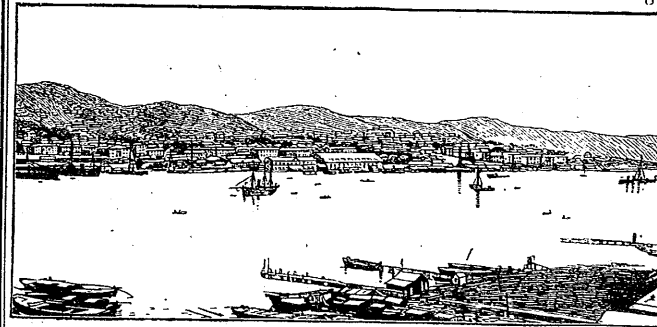
な川は、大てい南から北に流れて、北極海にはいる。たゞ黒龍江だけは東に流れて、閭宮海峽にはいつてゐる。エニセー川の上流にあるバイカル湖は、世界で最も深い湖である。シベリヤの北部は一年中大てい凍結してゐる凍原で、中部は一帯の森林地で、何れもまだ開けない。しかし南部の平地の部分には、地味か肥えて、夏の氣温が割合に高いから、移民が次第に増加して、麥の耕作、牛羊の牧畜が盛

都邑交通

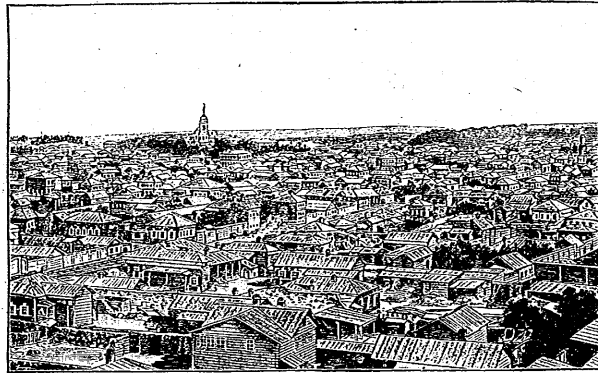
となり、都邑も處々に出來てゐる。又南部の山地には金・銀等の鑛産物が少くない。

太平洋方面の近海は世界の大漁場として名高い處で、夏季には我が國から出漁するものが甚だ多く、さげますたらかにの産額が多い。又沿海の川からはさげますがたくさんとれる。

ウラヂボストクは日本海に臨む港で、シベリヤの門戸である。我が



港 ク ッ ト ス ボ ダ ラ ウ



ク ッ ク ル イ

ツク・オムスク等の都會がある。

敦賀港との間に定期航路が開かれて居る。この地を起點とするシベリヤの鐵道の幹線は、世界の鐵道の幹線の一部であつて、東支鐵道と連絡し、シベリヤの南部を通つて、ヨーロッパの鐵道に接續する。又東支鐵道によつて我が南滿洲鐵道とも連絡してゐる。この幹線に沿つてイルクー

四 印度

印度はイギリスの領地の中で最も重要な國であつて、ヒマラヤ山脈の南に位し、大體三角形の半島である。我が國に比べて面積は約五倍、人口は約四倍である。首府デリーはガンジス川上流の地方にある。

印度の大部分は暑さがはげしく、雨量が多く、地味も肥



集採の綿るけに度印

産業都邑

較比の額産の綿るけに界世
(年十正大) 實億二十約額産年

國衆合カリメア			
支那	支那	支那	支那
支那	支那	支那	支那
支那	支那	支那	支那

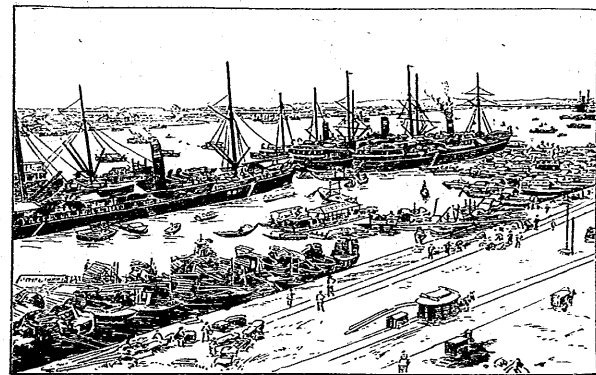
えてゐるので、農業は古來印度第一の産業で、米、麥、綿、ジート、麻、茶等農産物の收穫が甚だ多い。これ等の農産物は印度の主なる輸出品で、ジート、麻、茶は主としてカルカタから、綿、麥は主としてボンベールから、イギリス本國、我が國などへ輸出される。

カルカタとボンベールとは印度の東西の門戸で、交通や貿易が盛である上に、ボンベールでは綿絲紡績業、綿織

物業が、カルカタではジュート麻の紡績業、織物業が盛

綿るれさ入輸へ國が我
(年十正大) 圓萬千三億四約額入輸總

國衆合カリメア	
支那	支那
支那	支那
支那	支那



港 タ ッ カ ル カ

である。セーロン島のコロomboはヨーロッパとアジアとの間の海上の交通の要路に當り、又多く茶を輸出する。鐵道は國內縱横に通じ、又航路は内外各地に通じてゐる。殊に我が國の汽船は定期に前記の諸港に往來してゐるので彼我の貿易は益盛になつて行く。

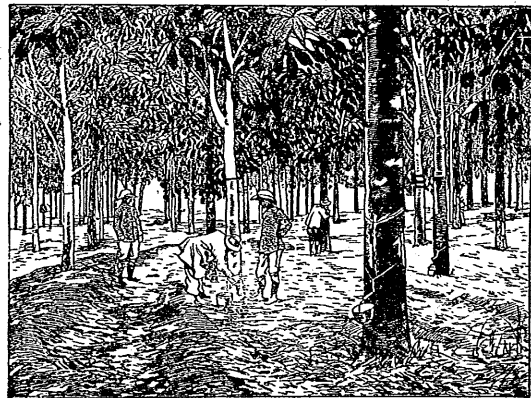
五 東南アジア

印度支那半島及びマレー諸島を東南アジアといふ。大

印度支那半島

體山地が多く、氣温は高く、雨が多い。

印度支那半島の主なる川の下流の沿岸には平地があつて、米の收穫が多く、又其の附近の山地からは木材がたたくさん伐出される。米はイギリス領ラングーン、シムの首府バンコク、フランス領サイゴン等の諸港から輸出され、我が國に來る額も少くない。マレー半島はゴムの木の栽培が盛で、こゝに在留して

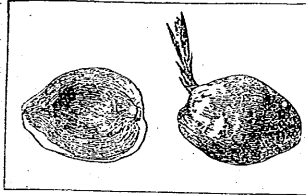


集 採 の 液 ム ゴ

る我が國人も多く之に従事してゐる。半島の南端に



木のしや
近いシンガポールは
世界交通上の要地で
あつて、各國の船舶の
出入が多く、貿易が頗
る盛である。

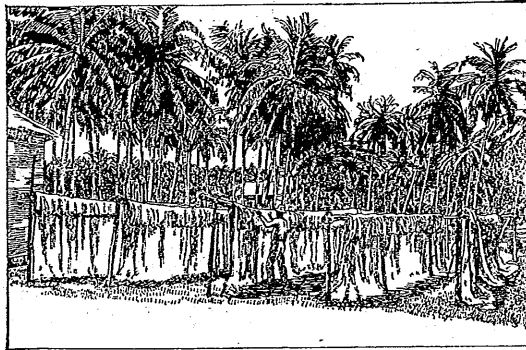


マレー諸島ではさたりきび・マ
ニラ麻やし等の栽培が盛に行
はれてゐる。
中でもオランダ領のジャワ島は
世界での砂糖の主産地で、バタビヤ・スラ

我が國へ輸入される粗糖
總輸入額約九千六百萬圓(大正十一年)

他の其	島群ニリ	度印東領ダンラオ
-----	------	----------

マレー諸島



マニラ・シンガポール・バタビヤ・スラバヤ等
場乾の麻ラニマ
群島からは、マニラ麻やコプラ
が多く輸出される。

國の汽船はマニラ・シンガポール・バタビヤ・スラバヤ等

バヤから多く之を輸出する。我が國でもこゝからたく

さんの粗糖を輸入する。

ジャワ島の北にあるボルネオ島
と、西北にあるスマトラ島から
は石油、アメリカ領のフリピン

マレー諸島には近年我が國人
の渡航するものが次第に多く、
其の事業も漸く發展し、又我が

の諸港に定期に往來してゐるので、随つて彼我の貿易も漸次に發達して來た。

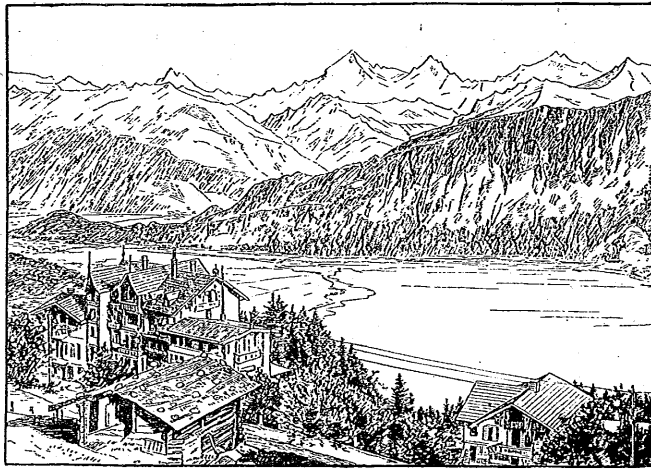
第八 ヨーロッパ洲(歐洲)

ヨーロッパ洲はアジア洲の西北に連なつてゐる半島狀の大陸で、南は地中海を隔ててアフリカ洲と相對してゐる。面積はアジア洲の四分の一にも足りないが、人口は二分の一以上もある。

本洲はイギリス・フランス・イタリア・オランダ・ベルギー・ドイツ・ソヴェト聯邦(ロシア)など大小三十餘國に分れてゐる。イギリス・フランス・イタリアは、面積と人口に於

區域

いては我が國に及ばないけれども、世界五大國の一で、他の大陸に於いて、非常に多くの領地をもつてゐる。本洲にある諸國は其の本國と領地とを合せると、面積では世界陸地の三割、人口では六割に達する。中でもイギリスは其の領地の面積が世界



アルプス山脈の中の高峯

地勢

陸地の二割、人口は世界人口の三割に上つてゐる。



河運び及川河航可のバローヨ部中

本洲の南部及び西南部は、アルプ山脈をはじめ數多の山脈があつて、平地が少く、北部のスカンデナビヤ半島も平地が少い。しかし其の他の部分は、大てい大きな平野であるから、川は割合に長く、流がゆるやかで、運輸灌漑の便が多い。其の上これ等の川は運河によつて互に相通

産業
農業

の間に船の通行さへも出来るやうになつてゐる。

ヨーロッパは緯度の高い處にあるが、其の西の大西洋近海にある暖流の影響を受けるから、氣候は大てい温和である。随つて農業が廣く行はれ、東部から中部にかけては、麻類、麥類、中部では甜菜、じやがいもなどの農産物がたくさん取れる。ロシア・ポーランドでは麻織物、ポーランド・ドイツでは甜菜糖の製造が頗る盛で

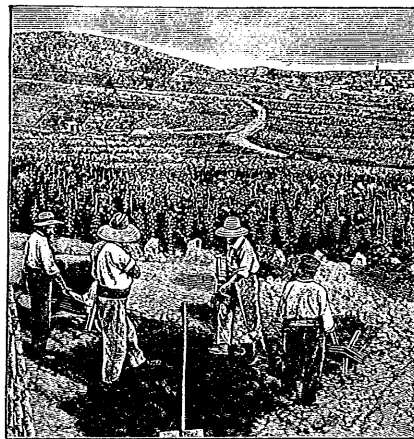


菜甜と畑菜甜



ある。

又地中海方面ではぶだうの栽培や養蠶が發達し、随つてフランス・イタリアではぶだう酒がたくさんに製造され、生絲の産額も少くない。牧畜は廣く各國に行はれ、殊に羊・牛・馬の飼養が盛で、東部・中部の諸國では、家畜の總數が各、其の國の人口よりも多い。中でもロシアでは東南部に廣い草原があるから、羊・牛・馬が何れも盛に



畑うだぶのスンラフ

牧畜

林業

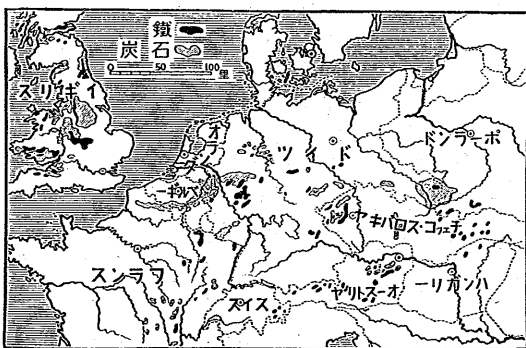
鑛業工業

飼養され、随つて革の製造業も發達してゐる。オランダ・デンマークでは牛の飼養が盛で、バター・チーズが多く製造され、外國に輸出される。

中部から北の諸國は森林が多く、ドイツ・ポーランド・オーストリア等、中部の諸國は、植林の事業が殊に進んでゐる。木材の産額が多い。又スウェーデンでは木材から盛にパルプを製造する。中部から西部にかけては鐵鑛・石炭が豊富で、殊にイギリス・ドイツでは石炭、フランス・イギリ

較比の額産の(圖下)炭石・(圖上)鐵るけに界世
(年九正大)噸億十約額年の炭石噸萬百九千二約額年の鐵

他	其	ドイツ	スラフ	國衆合カリメア
他	其	リイ	スリキイ	國衆合カリメア



中部ヨーロッパに於ける鉄・石炭の主な産地分布

各種の工業が発達してゐる。

スでは鐵鑛の産額が多く、何れも世界の主なる産地となつてゐる。随つてこの諸國では、鐵の製鍊、鐵の精製、機械の製造が甚だ盛である。又他の大陸から輸入した原料を用ひて、種種の工業品を製する。中でも綿絲、綿織物、毛織物、船、藥品、機械は廣く各國に輸出され、其の額が甚だ多い。

この外、ベルギー・オランダにも、

本洲は産業の進歩と共に、交通の便も大いに開け、鐵道は到る處に敷設されてゐる。中でもベルギー・スイス・イギリス・ドイツでは、面積の割合に線路の延長が多い。



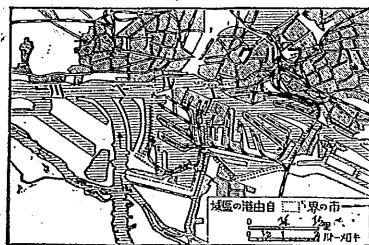
ネーデルラントのドナウ線

鐵道の幹線はロンドン・パリ・ベルリン・モスコー等を中心として四方に通じ、ロシアを通ずる幹線は、シベリヤの鐵道の幹線と接續する。又バルカン半島を通ずる幹線は、西部アジアの幹線と連絡してゐる。鐵道がアルプ山脈を横ぎる處には、世界に有名なシンプロン・サンゴタルドの長いトンネルがある。又山中の名勝の地には登山鐵道が



道鐵山登の中山ブルア

良港があつて、水上の交通は甚だ便利である。イギリスのロンドン・リバプール、ドイツのハンブルグ、フランスのマルセーユは、世界で名高い港であつて、世界各地の諸港と航路が相通じ、船の出入が極めて多い。

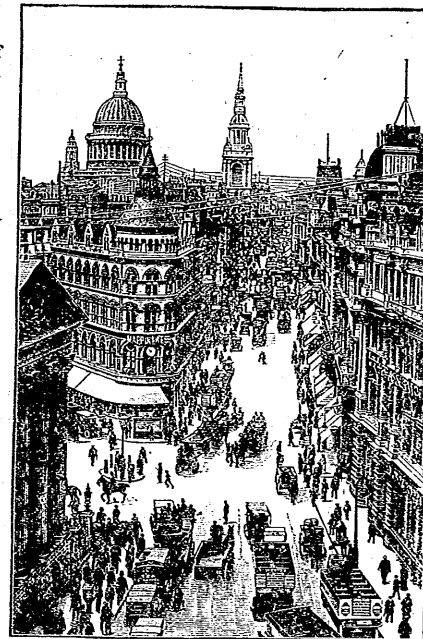


圖の港グルブンハ

ある。本洲は海岸線の出入が多く、又川の下流は大きな船が通れるから、海岸にも河岸にも到る處に

水上交通の發達、造船業の進歩と共に、本洲諸國の船舶は愈、其の數を増加し、イギリス・フランス・ノルウエーは、何れも世界の海運業に於いて、優勢の地位を占めてゐる。殊にイギリスは世界で最も海運業の盛な國であつて、世界の貿易の中心になつてゐる。其の貿易額は凡そ二百億圓、我が國の貿易額の數倍である。イギリスに次いで貿易の盛なのはフランス及びイタリアで、其の貿易額は何れも我が國の貿易額よりも多い。イギリスは我が國より小さい島國であるが、耕地や牧場の面積は我が國のよりも廣い。殊に海外到る處に領

地を有し、世界無比の廣い領地と、多數の人口とをもつてゐる。それ故交通や貿易が領地との間に盛であるのは勿論、諸外國との間にも盛



街市のンドンロ

イギリスに於いては工業・鑛業・商業及び海運業が相待つて發達してゐる。この國が今日の富強をなしたのは

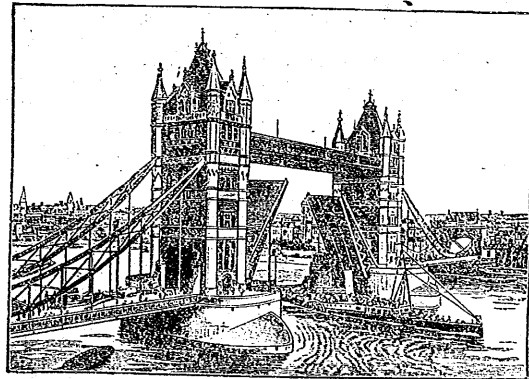
は勿論、諸外國との間にも盛で、種々の工業原料品を輸入し、これに加工して、其の大部分は輸出する。

この爲である。

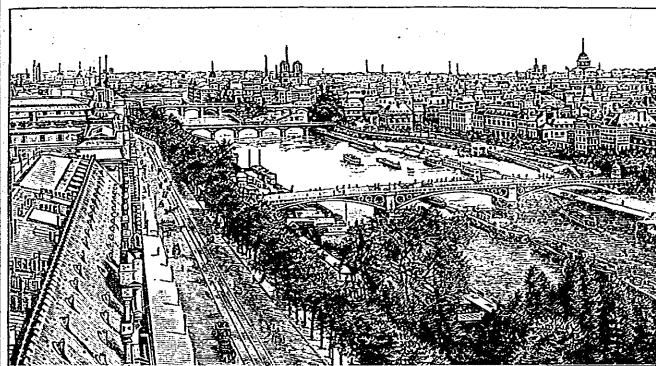
首府ロンドンにはテムス川の下流に臨み、人口が七百五十萬、世界第一の大都會である。ロンドンはリバプールと共に、世界各國の船舶の出入が頗る盛な處で、世界の大貿易港である。

フランス

フランスは海外に廣い領地を有し、本國と其の領地とを合すれば、其の面積の大きなことでは世界の第三位で、イギリス・ソヴィエト聯邦(ロシア)に次いでゐる。氣候が一般に



(ふいと橋-ソタ) 橋閉開の河スムーテ

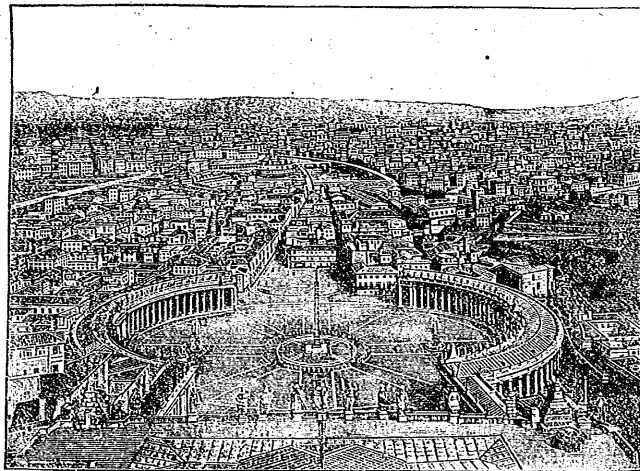


パリの市街

温和で、南部の地中海沿岸地方は殊に温暖である。氣候がよく、地味の肥えた耕地が多いので、農業が盛で、小麦、ぶどう等の産額が多い。又商業工業、海運業も發達し、絹織物やぶどう酒がたくさんに製造され、輸出される。絹織物の原料は多くは、我が國及び支那から輸入するのである。首府パリは人口が約三百萬、

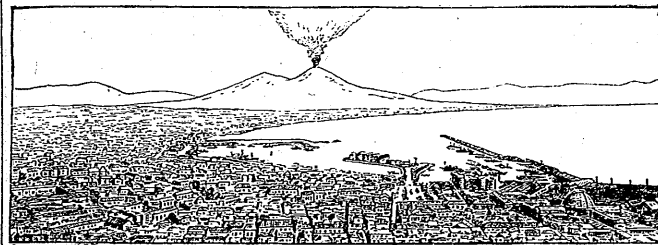
美術・工藝の盛な處で、市街の美麗なことは世界で類がないといはれてゐる。

イタリアは我が國のやうに山地が多く、火山に富み、地震も多い。川は大きなものがなくて、交通にはあまり利用されないが、發電には大いに利用され、其の電氣は、國內



ローマの市街

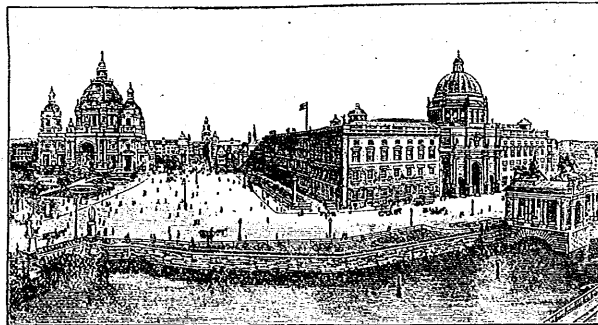
ドイツ



ネーブルス港

に石炭の産出額が少いので、主として工業の動力に用ひられる。北部の平地はこの國の主要な部分であつて、農業が發達し、工業も盛である。又この國は地中海の交通の要路に當つてゐるので、海運貿易も近年大いに發達して來た。首府ローマは古來、歴史上有名な處で、ネーブルス港は風景が美しいので名高い。ドイツは元、海外に廣い領地を有して

ゐた大國で、商業、鑛業、工業、海運業の盛なこと、イギリスをも凌ぐ勢であつたが、世界大戰の結果本國の一部と海外領地の全部を諸外國に譲り渡し、これと共に鐵鑛産地の大部分と炭田の一部をも失つて、鑛業が衰へ、又多數の大きな船を諸外國に引渡して、海運業が振はなくなつた。しかし國內に耕地が多くて、農業が廣く行はれ、交通も水陸共に便利である。又學術は大いに進歩して



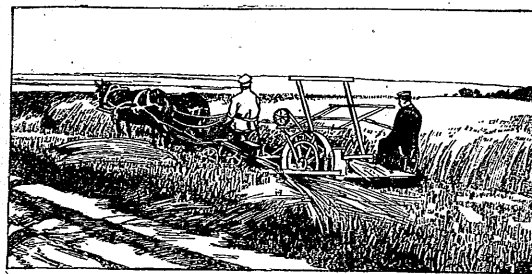
ペルリンの市街

るて、其の應用の技術も發達してゐる。随つて化學工業の如きは、今なほ盛である。

首府ベルリンは、接續してゐる町を加へると人口が約三百八十萬、學問の盛な處である。

ソヴェト聯邦(ロシア)は一般に平地で、大きな川が多く、水運灌漑共に便利であるが、北の大部分は寒氣がはげしいので産業が發達しない。しかし南部は割合に温暖で、農業や牧畜が甚だ盛であるから、これがためこ

ソヴェト
聯邦(ロシア)



シロヤの農場

の國はヨーロッパ第一の農業國となつてゐる。

この國は本國の面積が大きいばかりでなく、アジア洲に廣い領地を有し、イギリスに次いで大きな國である。其の領地のシベリヤは我が國と接近してゐるので、我が國とは殊に關係が深い。

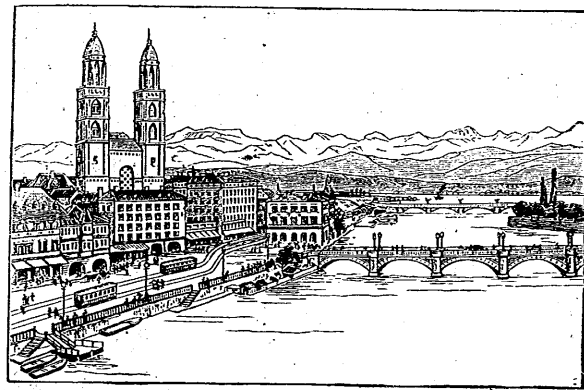
首府モスコは世界の陸上交通の要地である。



モスコの市街

其の他

オランダ・ベルギーは其の本國だけでは、何れも我が國



スイスのチューリッヒ市から見たブルグ山脈

よりよほど小さいが、海外に
廣い領地を有し、商業・工業・海
運業が發達してゐる。又我が
國やイギリスと共に、人口の
密度が世界で最も大きな國
である。ポーランド・チェコス
ロバキヤは世界大戦中に起
つた國々の中の主なるもの
で、諸種の産業が發達してゐ
る。スイスは本洲の諸國の中

我が國との
關係

で最も山がけはしく、谷が深く、山水の風景が美しいの
で、山の公園として世界に知られ、登山の設備なども行
届いてゐる。それ故、夏季、諸外國から來遊するものが甚
だ多い。

我が國と歐洲諸國とは密接な關係がある。我が國と條
約を結んでゐる國は二十餘箇國ある。その中、イギリス・
フランス・イタリア・ドイツ・ベルギー・ソヴェト聯邦（ロシ
ヤ）トルコの諸國には大使館を置き、其の他の條約國に
は大てい公使館を置いて居る。

我が國と歐洲諸國との交通は甚だ便利で、イタリア・フ
ランス・イギリス・ベルギー・オランダ・ドイツの主なる港

には、我が歐洲航路及び大西洋航路が通じてゐて、貿易も益盛になつて行く。殊にイギリス・フランス・ドイツは我が國の貿易上の主なる取引先で、我が國から輸出するのは生絲と羽二重が主で、生絲はフランスへ行くもの、羽二重はイギリス・フランスへ行くものが多く、我が國へ輸入するのはイギリスからの鐵毛織物機械が主なるものである。

第九 アフリカ洲

區域

アフリカ洲は世界第二の大陸で、人口は凡そ一億五千萬、獨立國はエジプト外二箇國だけで、大部分はイギリ

地勢

ス・フランス等、歐洲諸國の領地となつてゐる。本洲は北部に廣く、南部に狭い。大體、高原狀で主山脈は東部の印度洋沿岸に沿つて南北に連なつてゐる。この山脈中にはたくさんの湖があつて、ナイル川・コンゴ川などの源となつてゐる。

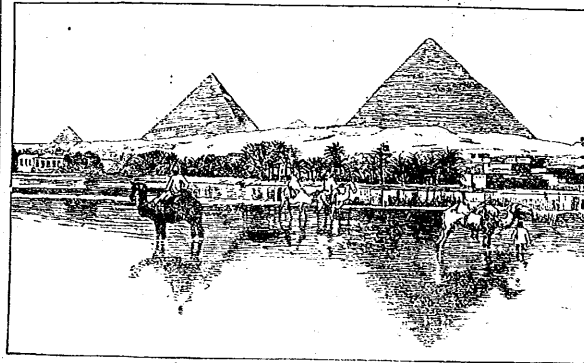
海岸は傾斜が急で、ナイル川を除き、大ていの川は海岸近くで瀧となつてゐるから、水運上、河海の連絡が不便である。又海岸線の出入が少いから、良灣が少い。随つて海上の交通が發達しない。

本洲の大部分は熱帶にあつて、暑さがはげしい。其の中、中部の地方は雨量が多いので、到る處に大森林がある

北部
エジプト

けれども、交通が不便だからあまり利用されてゐない。南部及び北部の内地は雨が少いので、廣い草原や沙漠があるばかりで、交通も産業も共に發達してゐない。殊に北部のサハラ沙漠は世界第一の大沙漠で、其の面積は本洲の五分の一ほどもあるが、大部分は無人の境である。

ナイル川はビクトリヤ湖から出て、北に流れ、地中海にはいつ



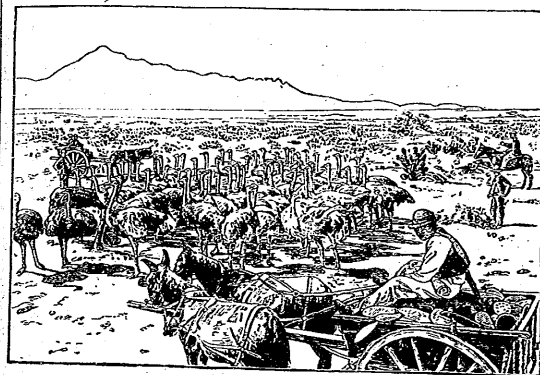
ドミラビと水洪の川ルイナ

てゐる。下流は流がゆるやかで、水量が多く、古來運輸に利用されてゐる。又其の沿岸には平地があつて、こゝでは農業が昔から發達して、綿や穀物がたくさん取れる。これは毎年、夏季になると、上流地方に雨が多く降るので、川水が著しく増して、一面にあふれ、上流から運ばれて來る肥えた土が、地面に堆積するからである。



ロイカと川ルイナ

かやうにこの平地は、ナイル川の恩恵によつて、交通産業に便利であるから、文明が早く開け、都邑も發達し、人口も甚だ密である。



南アフリカ聯邦に於ける駝鳥の飼養

カイロはナイル川下流の沿岸にあるエジプトの首府で、本洲第一の都會である。又其の附近には古代の文明を物語るピラミッドやスフィンクスがある。イギリス領の南アフリカ聯邦は、世界での金や金剛石の主産地で、羊の牧畜、駝鳥の飼養も盛

南部
南アフリ
カ聯邦

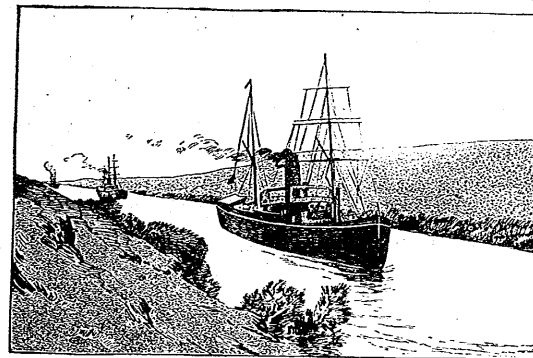
交通



ケープタウンの港

である。又交通も便利である。南端の喜望峰に近いケープタウンは、この聯邦の門戸に當つてゐる。本洲の内地は、地勢氣候等の關係によつて、交通が不便で、永い間、開けなかつたが、近年、ヨーロッパ人が漸次開發の歩を進め、次第に交通の便を開いてゐる。カイロとケープタウンとの間を南北に縦貫する鐵道も、工事が進んでゐるから、完成される時期も遠くはあるまい。

區域



スエズ運河

スエズ地峽に切開かれたスエズ運河は、長さが約四十里、ヨーロッパとアジアとの間の海上交通の幹線で船の往來がたえない。

第十 北アメリカ洲(北米)

北アメリカ洲はほぼ三角形をなす大陸で、西北はベーリング海峡を隔ててアジア洲に對し、南は細長い地峽となつて、南アメリカ洲についてゐる。面積はアジア洲の凡

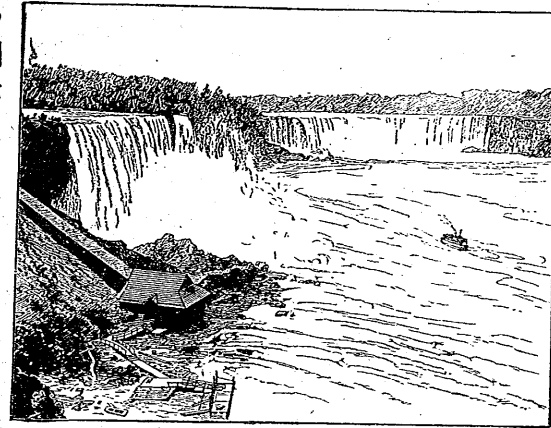
地勢

そ二分の一、人口は凡そ一億五千萬である。カナダをはじめ、イギリスの領地が處々にあるが、其の他は大小あまたの國々に分れてゐる。多くは國力が振はないが、ただひとりアメリカ合衆國が、五大國の一として富強を誇つてゐる。

西部にはロッキー山脈が南北に長く連なつて、本洲の大部分水嶺となつてゐる。この山脈はヒマラヤ山脈に次いで雄大なものであつて、其の中央の部分は山脈が幾すぢにも分れ、其の間、處々に廣い高原や盆地をはさんでゐる。又處々に火山もそびえてゐる。

東部にはアパラチヤ山脈が南北に連なつてゐるが、ロッ

キー山脈に比べると甚だ低い。



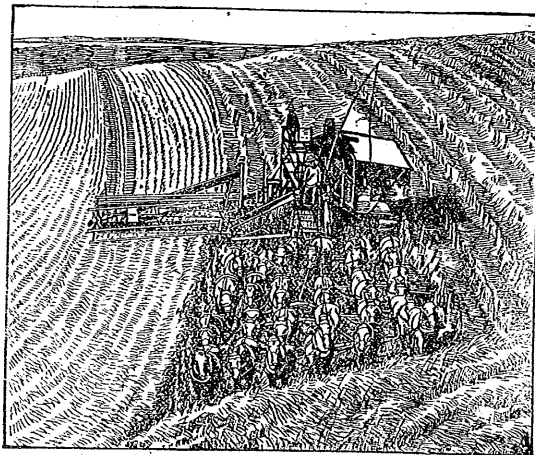
め湖が多く、南部は大體、ミシシッピ川の流域である。五大

ナ イ ヤ ガ ラ の 瀧

これ等、東西兩山脈の間の中央部は、南はメキシコ灣から、北は北極海に至るまで、一體に廣い平地である。其の北部は寒氣がはげしいので、凍原が多く、人口も少く、産業も進んでゐない。中部はスペリオル湖以下のいはゆる五大湖をはじ

産業
農業
牧畜

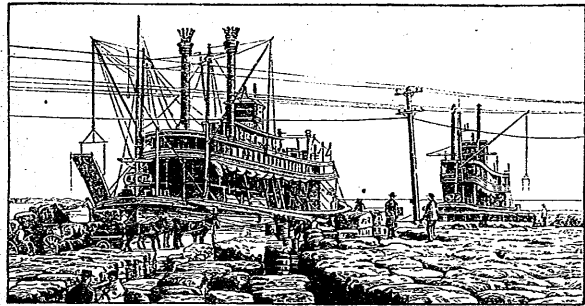
湖は船の交通が至つて便利で、其の航路は運河によつてセントローレンス川及びミシシッピ川にづいてゐる。ミシシッピ川は世界第一の長流で、水量がゆたかで、流もゆるやかであるから、船の交通が甚だ便利である。又灌漑の便も多く、發電にも五大湖と共に、大いに利用されてゐる。



合衆國に於ける小麦の收穫

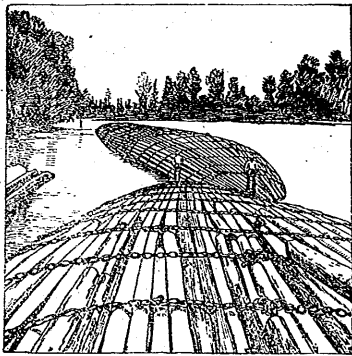
中部から南の平地は、かやうに水運灌漑の便があり、地

林業



し出積の綿の港スジャリルオーニ

味も肥えてゐて、氣候も温和であるから、農業牧畜が盛で、何れも大規模に營まれてゐる。殊に合衆國は小麥・綿・たうもろこしの産額が世界第一で、牛・豚の頭數も極めて多い。カナダの東西兩部と合衆國の西部には大森林があつて、



岸沿洋平太の國衆合
筏の材木るす出輸らか

水産業

木材の産出が多く、用材・パルプが到る處で製造される。中でもアメリカ松材はパルプと共に我が國へも輸入される。

合衆國の太平洋沿岸はオレンジぶだりなど果實の産地として、西印度諸島のキュバ島は砂糖の産地として、世界に知られてゐる。

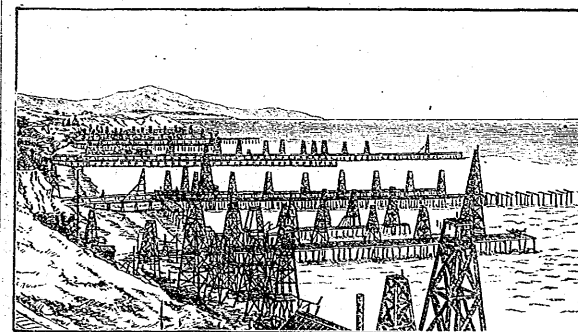


のドンラドォフューニ
りつらたるけ於に海近

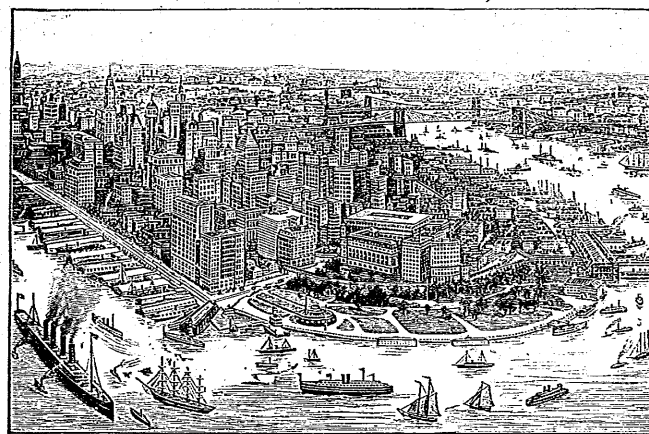
カナダの近海は、水産業が盛で、大西洋沿岸ではたらにしん、太平洋沿岸ではさけが多量に取れる。殊にニーフ

鑛業・工業・貿易

ンドランドの近海は、世界屈指の大漁場である。
合衆國・メキシコ・カナダは何れも鑛産物が多く、中でも合衆國は種々の鑛物が豊富であつて、採鑛製鍊の業が各地に發達し、鐵石炭石油銅の産額の多いこと、到底他國では見ることの出来ない程である。又メキシコは銀の産額の多いことでは世界第一で、石油では合衆國に次いで第二位である。
合衆國の鐵石炭石油の主産地で



合衆國の太平洋沿岸の石油井



ニューヨークの港

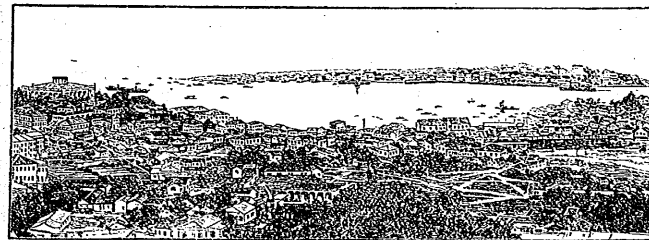
ある東北部、カナダの主要な鑛産地たる東南部では、各種の工業が著しく進歩してゐる。ニューヨーク・フィラデルフィア・シカゴなど世界屈指の大都會をはじめ、ワシントン・オタワ等たくさんある都會が、この地方にあるのも偶然ではない。ワシントンは合衆國の首府であつて、オタワはカナダの

交通

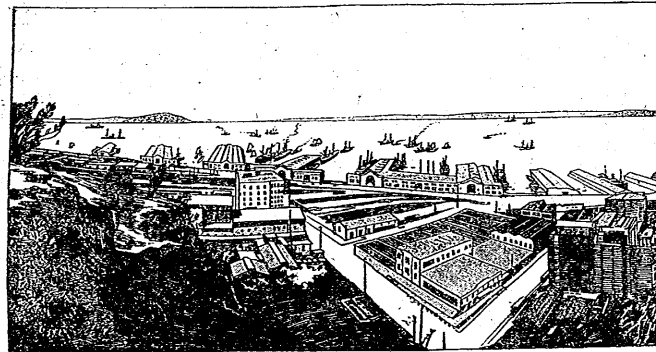
首府である。

合衆國の貿易は、年額が二百億圓に上り、其の額の多いことでは英國と肩を並べて居り、輸出額の多いことでは英國をも凌いでゐる。

鐵道は合衆國及びカナダの南部に於いて著しく發達してゐる。この邊には太平、大西兩洋連絡交通の幹線が幾つもある。其の起點又は終點となつてゐる處は、海外航路との連絡も便利である。合衆國には、この幹線の大部分が



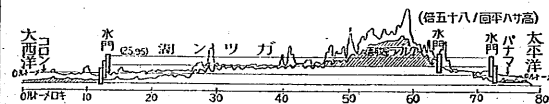
港　　ー　　バ　　ー　　ク　　ン　　バ



港　　コ　　ス　　シ　　ン　　ラ　　フ　　ン　　サ

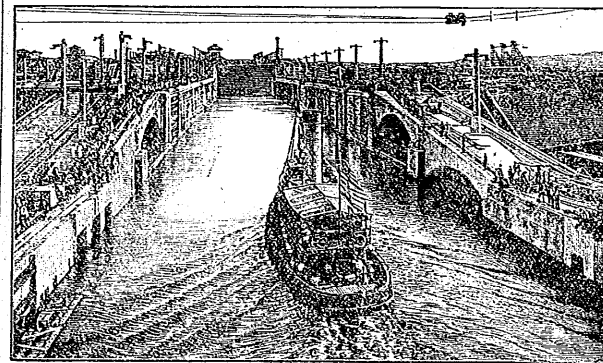
ある外、なほ鐵道が到る處に通つてゐる。其の延長は二十六萬マイルに及び、世界の鐵道の總延長の約二分の一に當つてゐる。

外國航路は大西洋方面からヨーロッパの諸港に通ずるものが最も多い。又太平洋方面から東洋南洋の諸港に至るものも次第に増加してゐる。港の主なものは、大西洋方面では、ニ



ナバマ運河断面圖

ヨーク・フィラデルフィアをはじめ、ボストン・ニュー・オーリヤ
ンスがあり、太平洋方面では、バ
ンク・バー・シャト
ル・サン・フランシス
ナ・コロス・アンゼルス
がある。
パナマ運河は、パナ
マ地峽を切開いて
造られた水門式の
大運河で、延長約二
十里、其の最も高い



ナバマ運河

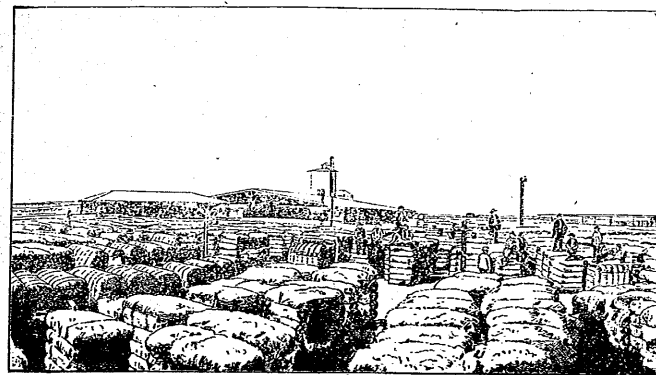
我が國と北
米との關係

部分の水面は海水面上、約二十六メート
ルの處にある。この運河が開通してから、
太平・大西兩洋を連絡する航路は、其の距
離が著しく短縮され、アジア洲の東部と
本洲の大西洋方面との交通も、一層便利
となつた。

我が國の汽船は太平洋方面の諸港ばか
りでなく、大西洋方面の諸港にも定期に
航海してゐる。
かやうに彼我の間の交通が便利となる
に随つて、貿易も益發達して行く。殊に合

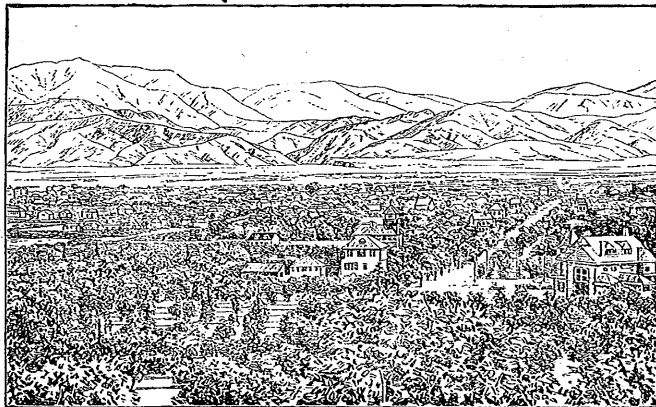
我が國と合衆國の主なる貿易品の貿易額
(年十正大) 圓萬百八千七過超入輸 圓萬千七億十額易貿年

生絲	綿	鐵鐵材	機械	其の他	生絲	綿	鐵鐵材	機械	其の他
輸	出	輸	入	輸	輸	出	輸	入	輸



し出積の綿たし培栽が人國が我るす住在に岸沿洋平太の國衆合

衆國の貿易が最も盛んで我が國は綿鐵及鐵機



園樹果るあに岸沿洋平太の國衆合

械・木材・小麥・石油等を彼から輸入し、生絲・羽二重・陶器・茶等を彼に輸出する。又合衆國の太平洋沿岸には我が國人の在留してゐるものが約十萬人あつて、多くは農業・水産業に従事してゐる。

第十一 南アメリカ洲(南米)

南アメリカ洲はほぼ三角形をなす大陸で、面積は北アメリカ洲ほどもあるが、人口は其の半分にも及ばない。一部分はイギリス領・フランス領・オランダ領になつてゐるが、大部分はブラジル・アルゼンチン以下の十箇國に分れてゐる。

區域

地勢

本洲の地勢は大體、西部・中部・東部の三つの部分に分れ

てゐる。



アマゾン川の沿岸の密林

ンデス山脈の北の部分は山脈が幾すぢにも分れて、其

西部にはロッキー山脈のつゞきのアンデス山脈があつて、太平洋の海岸に沿ひ、南北に走つて、本洲の大分水嶺をなしてゐる。この山脈は、中に數多の高い火山もあつて、地勢が甚だ高く、又ははしく、ロッキー山脈に勝るとも劣らぬ雄大な山脈である。ア

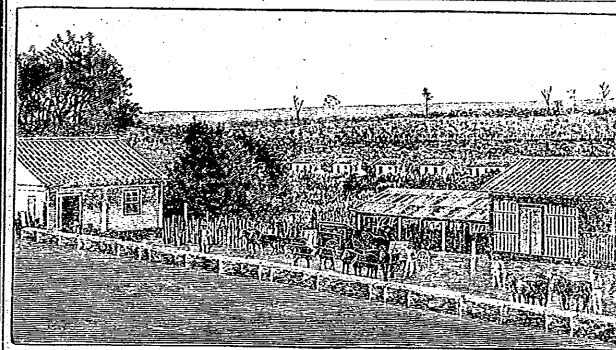
の間、處々に高原がある。

東部にはブラジル山地があるが、これは一般に高原状になつてゐて、あまり高くない。

この兩山地の間の中央の部分は、一帯に廣々とした平地で、其の北部ではアマゾン川が東に向つて流れ、南部ではラプラタ川が南に向つて流れてゐる。何れも水量が多く、流がゆるやかで、大きな船も通ることが出来るから、本洲の主要な交通路となつてゐる。殊にアマゾン川は、大洋を航行する汽船も川口から三百五十里の川上まで往來することが出来る。

氣候産業

本洲の大部分は熱帯にある。其の低い處は暑さがはげ



南米に於ける我が國人の村

しく、濕氣も多くて、健康に適しないから、産業も發達してゐない。アマゾン川流域の大平地にある大森林の如きも、土地が低く、氣候が悪いから、あまり利用されてゐない。たゞゴムの木からゴムが採集される位のことである。之に反して太平洋方面のアンデス山脈中の高原では、鑛業・牧畜が行はれ、又大西洋方面のブラジル山地では、農業・鑛業・牧畜が行はれてゐる。



コーヒーの實

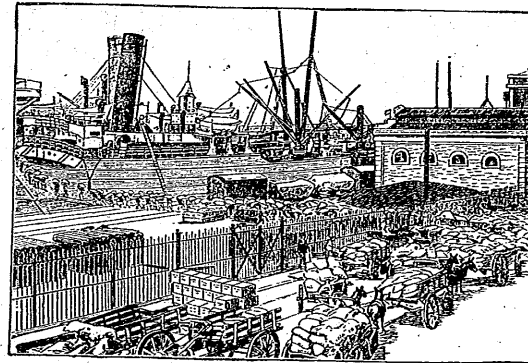
が著しく發達してゐる。中でもブラジルの南部からアルゼンチンの北部、チリの中中部では殊に盛である。ブラジルのコーヒーは殊に名高く、世界の總産額の半ば以上を産する。この



コーヒーの採集

しかし温帶にある地方は氣候も溫和で、地味もよく、農業・牧畜に適してゐる。随つて諸外國からの移民も多く、これ等の業

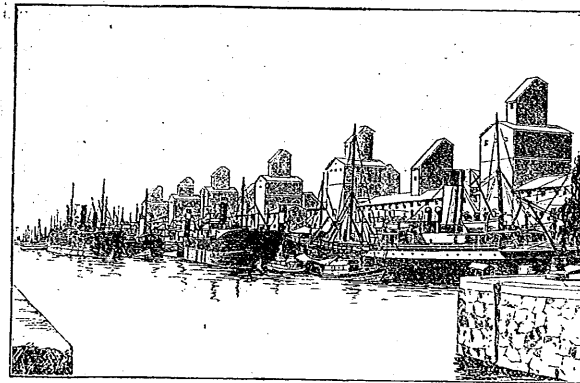
コーヒーは主としてサントス港から各國に輸出され



し出積の一ヒーコるけ於に港ストンサ

や牛の牧畜も盛である。それ

る。ア
ルゼ
ンチ
ンで
は多
く小
麥を
産し、
又羊



庫倉の麥小出輸るけ於に港スレイアスノエブ

交通

故羊毛草類肉類の産額も甚だ多く、小麦と共に主としてブエノスアイレス港から各國に輸出される。



場市の毛羊のンチンゼルア

ラジルの首府リオデジネーロ及びコーヒー栽培の中心地サンパウロ、アルゼンチンの首府ブエノスアイレスの間の間は船舶の往來が盛である。又移民の數も年々著しく増加する。陸上交通の便もだんだん開け、名高い都會としてはブラジルの首府リオデジネーロ及びコーヒー栽培の中心地サンパウロ、アルゼンチンの首府ブエノスアイレ

我が國と南
アメリカ洲
との關係

ス、チリの首府サンチャゴ等がある。
ブエノスアイレスから西の方アンデス山脈の高い峠
を越えて、チリのバルパライソに至る鐵道は、南米唯一
の大西・太平洋兩洋の連絡線である。
大西洋沿岸にあるリオデジネーロ・サントス・ブエノス
アイレスの諸港、及び太平洋海岸にあるバルパライソ
港、ヘルシーのカイヤオ港は、我が横濱神戸との間に定期
航路があつて、我が汽船のこの間を往來するものが次
第に多く、之が爲にだんく貿易も發達する。又ブラジ
ルをはじめ、本洲の諸國には、我が國人の在留するもの
が少くない。

區域

第十二 大洋洲

大洋洲は、世界の大陸中で最も小さいオーストラリヤ（濠
洲）と、太平洋の中部から南部へかけて散在してゐる大
小數多の島々とをいふのである。總面積はヨーロッパ洲
と大差はないが、人口は八百餘萬で、朝鮮の人口の半分
にも足りない。其の中、七割餘は白人で、多くはオースト
ラリヤに住まつてゐる。

本洲は獨立國が一つもなく、大部分はイギリスに、一
部分はフランス・アメリカ合衆國・オランダの各國に屬
してゐる。我が國が預つてゐる南洋諸島はこの洲の北

オーストラ
リヤ

の部分にある。

オーストラリヤは、地勢が大體、高原状である。中部から西部にかけては雨量が極めて少く、又寒暑の差が甚しいので、大部分は、沙漠又は草原となつてゐて、人の生活に適しない。しかし西南部には金がたくさん出る處があるので、都會も出來てゐる。



オーストラリヤに於ける牧羊

東部の海岸には南北に連つてゐる山脈があつて、之がために、雨が割合に多く、この山脈

世界に於ける羊毛の産額比較
(年九正大) ドンポ億八十二約額産年

他	其	カリフォルニア 合衆國	ヤン口	カリフォルニア 南國語	オーストラ リヤ
---	---	----------------	-----	----------------	-------------

から流れ出る川は、灌漑に利用される。殊に最もよく利

用してゐる

のは東南部

であつて、こ

の地方は氣

候も温和で

あるから、農

業、牧畜が發

達してゐる。中

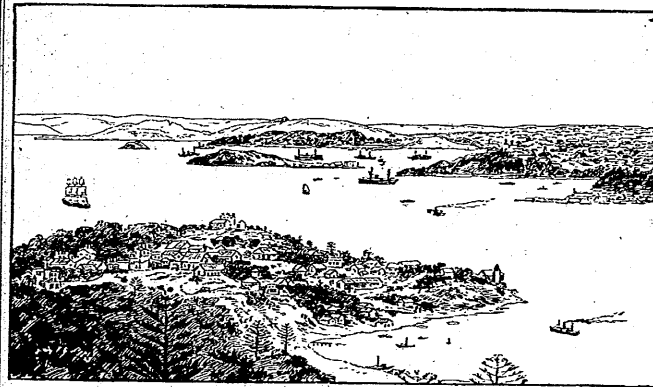
にも小麥の栽培、牛や羊の牧畜

は最も盛で、羊毛の産額は世界第一であり、小

麥肉類の産額も甚だ多い。これ等の農産物、畜産物の大



羊毛刈取り



シドニー港

部分は、イギリス本國へ輸出される。又鑛業も盛で、金の外石炭の産出も少くない。東南部はかやうに産業が盛になるにつれて海陸の交通も便利となり、都邑も少くない。中でもシドニーとメルボルンとは良港であつて、世界の諸港と航路が相通じ、羊毛小麥を多く輸出する。我が國の汽船も此處に航路を開い

諸島

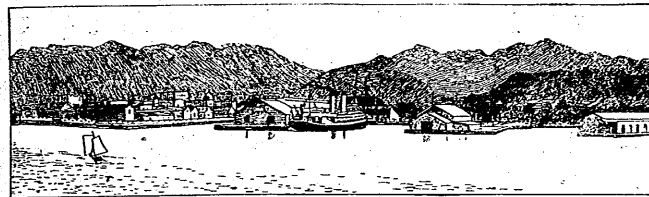
て、我が國からは羽二重綿メリヤス等を輸出し、此の地からは羊毛を輸入する。

太平洋上の諸島はパプア島とニューギランド諸島との外は、大てい高い火山が、低いさんご礁で、何れも面積が小さく、住民が少い。それ故、産業もたいして發達してゐない。けれども太平洋上の交通の要路に當つてゐるために、政治上、軍事上、重要な島々が少くない。ニューギランドは氣候が温和であつて、羊の牧畜が廣く行はれ、羊毛の輸出額が多い。



さんご礁の島

我が南洋諸島



ハワイ諸島はアメリカ合衆國に屬し、氣候がよく、地味が肥え、さとうきびの栽培が盛である。随つて到る處で粗糖が製造される。住民の過半は我が國人で、其の數は約十二萬、主としてさとうきびの栽培に従事してゐる。ホノルル港はこの諸島の門戶で、太平洋交通上の要地である。我が南洋諸島は、赤道から北の舊ドイツ領の全部、即ちパラオ諸島・カロリン諸島・マーシャル諸島の全部とマリヤナ諸島の大部分とで、世界大戰の結果我が國が統



土人（男子）

治するやうになつた處である。島の數は數百に上り、面積は約百四十方里、人口は五萬餘である。この諸島を治める南洋廳は、パラオ諸島のロール島にある。主なる産物はコブラと燐礦である。



燐礦採掘場

六大洲

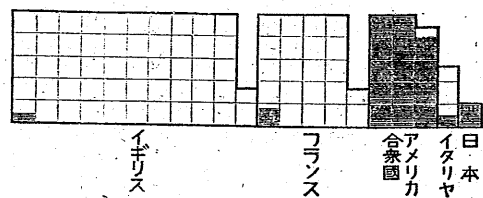
第十三 世界と日本

六大洲の中、アジア洲とヨーロッパ洲とは早くから開けて、世界の文明國は多くこゝに起つた。今ではアジア洲には我が國、ヨーロッパ洲にはイギリス・フランス・イタリアの三國をはじめ、文明の發達してゐる國が多い。南北兩アメリカ洲は歴史が新しく、新大陸と呼ばれるだけに、人口が少い。しかし産業上、有望な處として注目されてゐるので、ヨーロッパ・アジア洲の各地からここに移住するものが年々百萬以上もあつて、人口がだんだんに増加する。中でも、北アメリカ洲のアメリカ合衆國は、人口も多く文明も著しく發達して、今や世界で

地理二

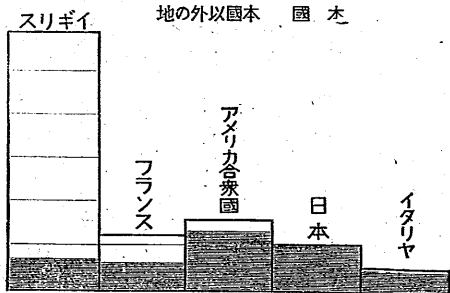
三大洋

五大國の面積比較



一二を爭ふ強國となつてゐるが、其の他の國々は國勢が餘り振はない。

本國以外地の面積比較



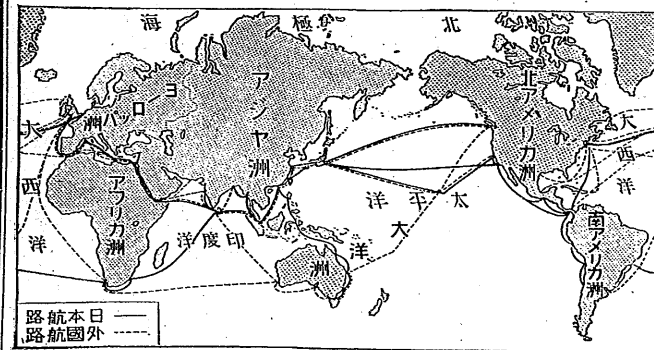
五大國の人口比較

アフリカ洲・大洋洲は殆ど其の全部がイギリス・フランス及びアメリカ合衆國等の領地となつてゐる。

三大洋即ち太平洋・大西洋・印度洋の中で、大西洋はヨ

ロバ洲と南北兩アメリカ洲との海上交通の要路で、航路が最も多く、又交通する船の數も最も多い。實に世界の商船の過半はこの大洋の上を往來してゐるのである。

印度洋はヨーロッパとアジアとを連絡する海上交通の要路で、スエズ運河が開通されてから、この兩洲の間の航路が大いに短縮され船の往來が益、盛



世界の航路の圖

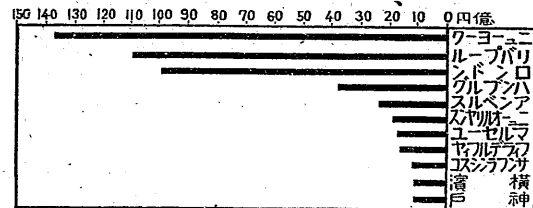
尋地二

になつた。

太平洋は三大洋中の最も大きな海で、アジア・大洋洲と南北兩アメリカ洲とを連絡する海上交通の要路である。それ故、日本をはじめ沿岸諸國が發達するに伴ひ、航路も著しく發達した。加ふるにパナマ運河が開通して、大西洋との連絡が容易となつたので、この海を航行する船の數も大いに増加し、太平洋は世界交通上、一層重要なものとなつた。

我が國はアジア洲の東部、太平洋上の西北部にあつて、

我が國の地理上の位置



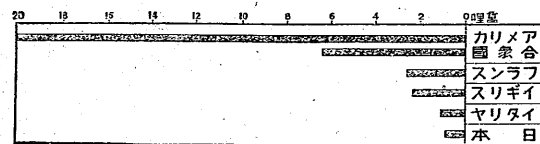
世界の主要な貿易港の貿易額

世界交通上の要路に當り、國運が次第に進み、今では世

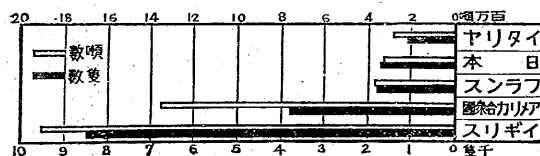
界の五大國の一となつて居る。

我が國は世界の三十餘箇國と條約を結び、イギリス・フランス・イタリア・アメリカ合衆國をはじめ、主なる國には大使館を置き、其の他

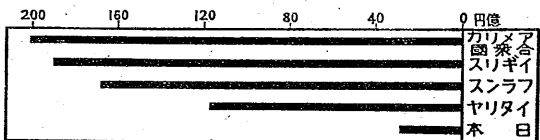
五大國の鐵道長の比較



五大國の汽船噸數・噸數比較 (以上噸百)



五大國の貿易額の比較



に往來し、通信は迅速に交換せられ、交通や貿易は年を追うて益々發達して行く。

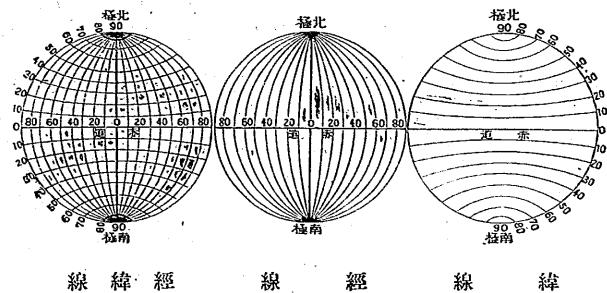
我が國は世界の海運上の勢力に於いてはイギリス・アメリカ合衆國に次ぎ、フランスと肩を並べてゐる。貿易も次第に盛になつて來たが、輸入額は遙かに輸出額を超過してゐる。

地球の大小

地球は形が球のやうで、南北の直径は凡そ三千二百里、東西の直径はそれよりも十里餘り長い。

経線緯線

地球の南北の直径を地軸といひ、其の南の端を南極、北の端を北極といふ。地球の表面に於いて南北兩極を結び付ける半圓周を假想して、之を経線又は子午線といひ、極から等距離の地點を連ねる線を假想して、之を緯線といふ。緯線の中で、兩極から



經度緯度

地點の定め方

等距離にあるものを赤道と呼ぶ。

經線はイギリスのグリニチ天文臺を通ずるものを假想して、之を零度とし、之を本として、東のは東經何度、西のは西經何度と數へ、各百八十度で終る。この百八十度の經線は、東經も西經も同じ一線である。

緯線は赤道を零度とし、之を本として、南のは南緯何度、北のは北緯何度と數へ、各九十度で終る。北緯九十度は北極、南緯九十度は南極で、何れも點である。

經度も緯度も一度は六十分、一分は六十秒に分ける。經線は南北の線で、緯線は東西の線であるから、地球表面のあらゆる地點は、この兩線に依つて明かに指示す

ることが出来る。例へば、東京天文臺は、東經百三十九度四十四分四十一秒の線と北緯三十五度三十九分十六秒の線とが交つた處にあるといへば、其の場所が極めて明かに知られるのである。

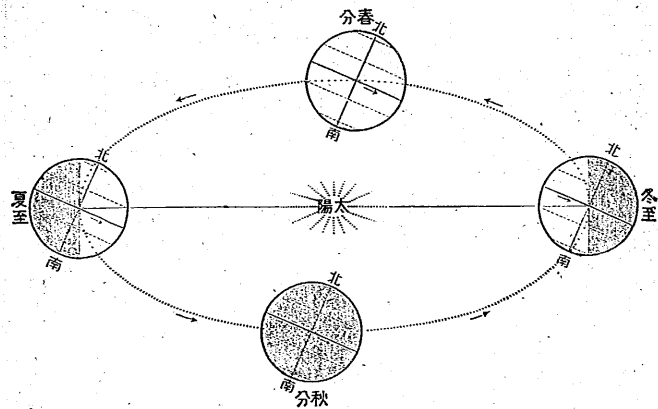
地圖を作るには經線と緯線とを本として、實際の大きさを縮めて描くのであるが、地球の表面は、球の表面のやうになつてゐるから、實際の形其のまゝに、平たい紙面に描き表すことがむづかしい。それ故方向、距離、面積などの中、何れを最も實地に近づけて描くか、其の目的如何によつて、經線、緯線の表し方が違ふ。随つて、圖面の上では方向や距離や面積などの表はれ方が違ふことが

地圖

地圖二
緯線一

晝夜・四季

地球の表面



晝夜・四季の表れ方

ある。

地圖では山川都會等地表の事物はすべて眞上から見下した形に描いてあるのが普通である。又地圖の種類によつては記號によつてそれらの事物を示してあるものもある。

地球は上の圖に示してあるやうに傾いてゐて、地軸を軸として西から東に廻

轉しながら、大體極まつた道を通つて、太陽のまほりを西から東にめぐつてゐるのである。地球が地軸を軸として一廻轉するには一日を要し、太陽のまほりを一周するには一年を要する。この一廻轉によつて晝夜の別が起り、一周によつて四季の別が生ずる。

地球はほゞ二十四時間に一廻轉するから、地表の地點はこの間に三百六十度をめぐる。随つて一時間には十五度をめぐる割合になる。それ故に經度十五度を隔てた甲の地點と乙の地點との間には、時間に一時間の差が出来る。而して東にある地點は西にある地點よりも時間が早い。

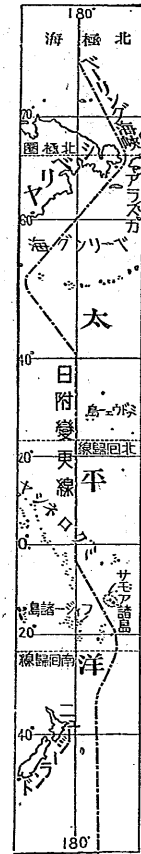
經度の差による時間の
違ひ

尋地二

日附變更線

東京は東經百三十九度餘であるから、グリニチに比べると九時間餘早い。即ち東京の午前九時はグリニチの午前零時頃である。

かやうに經度十五度の差で一時間の差が生ずるから、處によつては二十四時間即ち満一日の差があらはれ



(日曜月)(日曜日)
線更變附日

る。随つて同じ地球表面に於いて日附が一日違ふから、列國は申合はせて、大體百八十度の經線を境として、西から東に之を越えたものは前日と同じ日附にし、東か

ら西に越えたものは翌日と同じ日附にして、日附をそ
ろへることにしてある。この境となる線を日附變更線
といふ。この線は大體百八十度の經線としたのは、この
線が大てい太平洋上を通つてゐて、陸地を通る處が少
いからである。

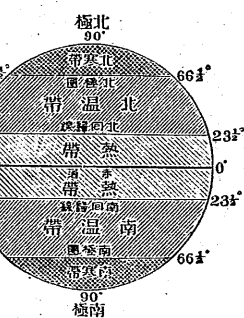
赤道以北と
以南との季
節の違ひ

季節は赤道の北と南とで反對になつてゐる。例へば、我
が國の夏は、オーストラリヤの冬で、オーストラリヤの
夏は、我が國の冬である。

氣候帶

赤道附近は之を熱帶といひ、兩極附近は之を寒帶とい
ふ。熱帶は北緯二十三度半と南緯二十三度半との間で、
赤道から北を北熱帶といひ、南を南熱帶といふ。寒帶は

緯地二
緯地二



氣候帶

北極と北緯六十六度半との間、及び南極と南緯六十六
度半との間で、北のを北寒帶と呼び、南のを南寒帶と呼
ぶ。熱帶と寒帶との間は溫帶で、
北半球の溫帶は北溫帶、南半球
の溫帶は南溫帶といふ。

熱帶地方は太陽に眞上から照
され、一般に氣温が高く、暑い。
寒帶地方は太陽の光を甚しく

斜に受けて、一般に氣温が低く、寒氣が強い。溫帶地方は
一般に氣温が溫和で、人類の生活に適して居る。
しかし氣温は水と陸との分布、海流などの影響を受け

陸地と海洋

て非常に變化するものであるから、同じ緯度にある處でも甚しく違ふことがある。
地球の表面は高低が一樣でなく、高い處は陸地となり、低い處は大てい海洋となつてゐる。陸地の面積と、海洋の面積との比は三と七である。
海洋は三大洋に分たれ、陸地は六大洲に分たれる。陸地の大部分は北半球にある。

尋常小學地理書 卷二 兒童用 終

尋地二
尋地二

附 錄

北海道・樺太・臺灣・朝鮮の諸地方、及び關東州、我が南洋諸島

地 方 名	行 政 廳	所 在 政 廳	管 轄 區 域
北海道地方	北海道廳	札幌	北海道本島及び其の屬島、千島列島
樺太地方	樺太廳	豊原	樺太島の北緯五十度以南の地
臺灣地方	臺灣總督府	臺北	臺灣島及び其の屬島、澎湖諸島
朝鮮地方	朝鮮總督府	京城	朝鮮半島及び其の屬島
關東洲	關東廳	旅順	關東州
我が南洋諸島	南洋廳	コロール島	パラオ諸島・カロリン諸島・マーシャル諸島及びマリアナ諸島の大部分

附 錄

K 130, 21-3-2

大正十四年十二月五日 印刷
大正十四年十二月十日 發行

(非賣品)

著作權所有

著作
者兼
發行

文
部
省

東京市小石川區久堅町百八番地

印刷者
大
橋
光
吉

東京市小石川區久堅町百八番地

印刷所
博
文
館
印
刷
所

